



ノ
リ
カ
サ
、

vol. 7

Sakamoto Shin'ichi

坂本眞一

出典: 安達正勝「死刑執行人サンソン」

★この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

イノサン

i n n o s a n

vol.7



坂本眞一

Sakamoto Shin'ichi

出典: 安達正勝『死刑執行人サンサン』



i n n o c e n t

vol. 7

ピカレスクの娘

Fille de picaresque.

サンソン家が王家と交わる「真紅のベルサイユ」編——。
ベルサイユ宮殿で処刑職に就いた妹マリー・ジョセフと、
幼き「ルイ16世」に崇められ、宮殿に招かれる兄シャルル。
妹と仲遠うシャルルを、権力の中核で「野心」が襲いかかる。
その時、純真なる者は、生き延びができるのか——?
!?

Ce volume 7 contient les épisodes numéro 65 à 75.

○この作品は、歴史上の人物・団体についての歴史を基に、一部脚色して構成したものです。

パリの死刑執行人サンソン家系譜

初代

シャルル・サンソン・ド・ロンヴァル ————— マルグリット・ジュアンヌ
1635 - 1707 - 1681
死刑執行人の娘と恋に堕ち、
死刑執行人となる

ルイ13世治下ディエップの死刑執行人の娘

二代目 シャルル ————— アンヌ・マルト
1681 - 1726 初代の二番目の妻の妹

アンヌ・ルネ
1710 - ?
ソワッソンの死刑執行人
クレチアン・ゼルと結婚

ニコラ・シャルル・
ガブリエル
1721 - 1795

マドレーヌ
1719? - 1740?
マドレーヌ・クロード・
ガブリエル
1738? - 1779?
後にムランの死刑執行人
ピエール・エリソンと結婚

三代目
シャルル・ジャン・
バチスト
1719 - 1778
療養のため別居

ジャンヌ・ガブリエル
父親はトゥーレーズの
死刑執行人



四代目
シャルル・アンリ・サンソン
1739 - 1806

サンソン家当主。四代目“ムッシュー・ド・サンソン”



マリー・ジョセフ
1751 - 1813
ベルサイユ宮廷司法官直属の死刑執行人
“ブレヴォテ・ド・ロテル”

ルイ・シャルル・
マルタン
1744 - 1817
後のトゥール及び
オーセールの死刑執行人

ニコラ・シャルル・
ガブリエル
1745 - 1800
後のプロアの死刑執行人

ルイ・シル・
シャルルマーニュ
1748 - 1794
後のプロヴァンの死刑執行人

ピエール・
シャンクス
1753 - ?

Histoire jusqu'à présent.

これまでの物語

「正義の番人であり、死神」。フランス史上、最も壯絶な死刑執行人一族・サンソン一族で、兄妹喧嘩が勃発!!!

発端は兄シャルルが、お針子マリーヨー・ジャンヌ・ベキューと一夜を共にしたこと。男としての快楽に目覚めたシャルルは、家長としての気力と自信を漲らせる。一方、妹マリーヨー・ジョセフは変貌を遂げる兄に不快な気持ちを抱いていた。その最中、サンソン家に新たな死刑執行命令が下る。意気揚々と処刑に臨もうとするマリー。だがシャルルは、処刑台で奔放に振る舞うマリーが一族に災厄を齎す危険を指摘し、任務を取り上げる。シャルルは抵抗するマリーを監禁してしまう。

だが、マリーは決して我儘に振る舞うのみではなかつた。マリーが素直に拘束されたのは、助手アンドレへの優しさだった。アンドレによって解放されたマリー。ラトゥールを魅了することで死刑執行の任務を取り返す。しかし、この処刑の方法はオルレアン公ルイーフィリップより下された、前代未聞の立つたままの斬首。「立像斬首」。誰もが血の海になる処刑台を思い戦慄した。



マリー・アントワネット

14歳でルイ・フィリップに嫁ぐ



できない。しかし、マリーは自らの唇を与え気力を賦活させることで、立ち上がりさせた。その刹那、一閃。ラトゥールは斬首終了^をに気づくとともになく、頭を胴体から落とした——。処刑は成功、だが、シャルルは死に行く者の心を弄んだと叱責する。マリーは女である^をを死刑執行人に推したかつての兄と別れを告げる。「信じる道は胸に刻まれた真紅^をき宿命のみ……」。野心、相克、死^を、人の営みの渦が流れ込む処刑台で、兄と妹は絆を見出し、成長と共にここで決別する……。

1年後、森で狩りに興じるシャルルの姿があった。一族の当主として自信に満ち、伴侶とすべき女性との新たな恋に燃えていた。そんなシャルルを試すかのような事件が起きる。それは、幼き「ルイ16世」ベリー公ルイーオーギュストとの遭遇。死^をに憧れるオーギュストはシャルルを冥府へと誘う。神^{として}として崇拜する。シャルルはオーギュストから、ベルサイユ宮殿の大昼餐会に招かれる。貴族を象徴する色である「青」の上衣を纏い、颯爽と現れた。だが、宮殿に渦巻く野心がシャルルをつけ狙う……。

そして、ベルサイユで処刑職に就く妹マリー・ジョセフの姿も！ 主役たちが舞台に集い、血^をを巡る革命の物語は加速する——!!!



アンドレ・ルグリ

元サンソシ家助手



オルレアン公ルイ・フィリップ

王位を狙う大貴族



ベリー公ルイ・オーギュスト

後の「ルイ16世」





全身は毛むくじやらの
熊のような
太男おおおとこで



でも
あの人は
まるで違つた

怪物
そのものだつた

残酷非道な





僕を見つめる
黒曜石の瞳は

濡れたように
輝いていた



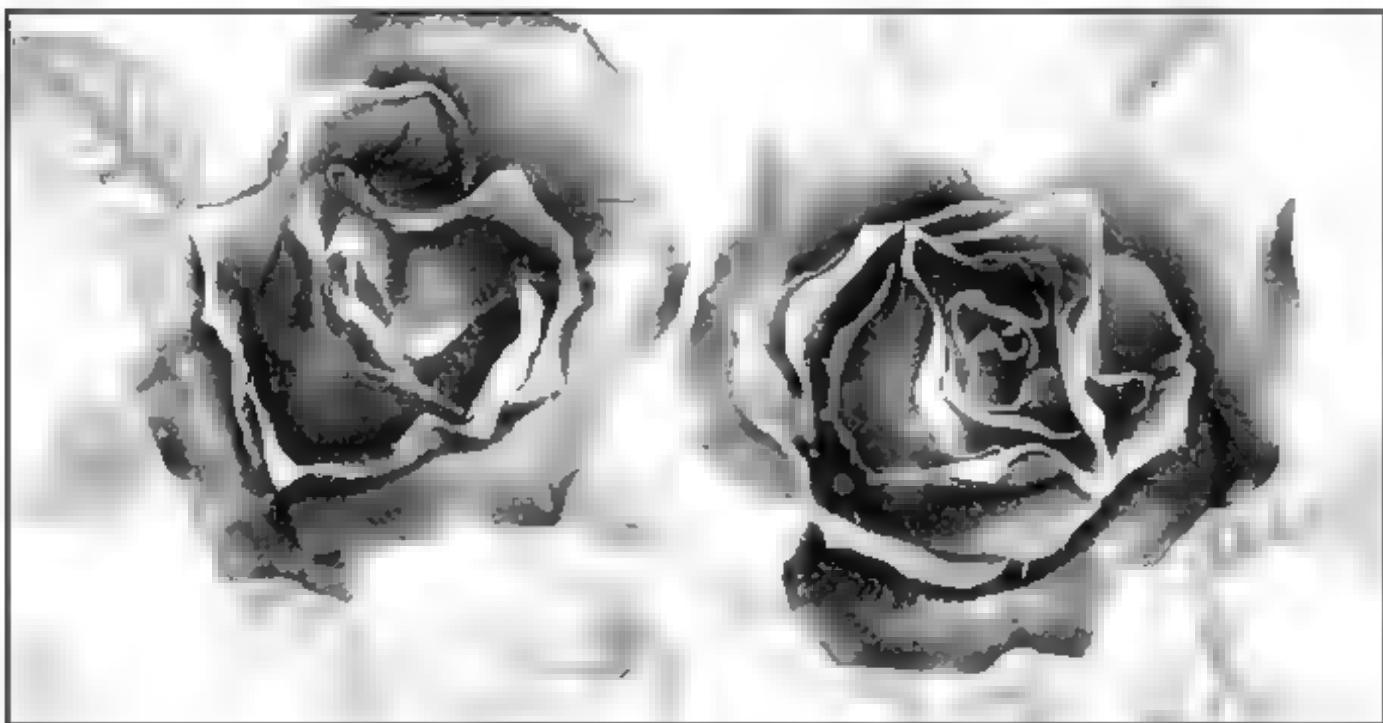
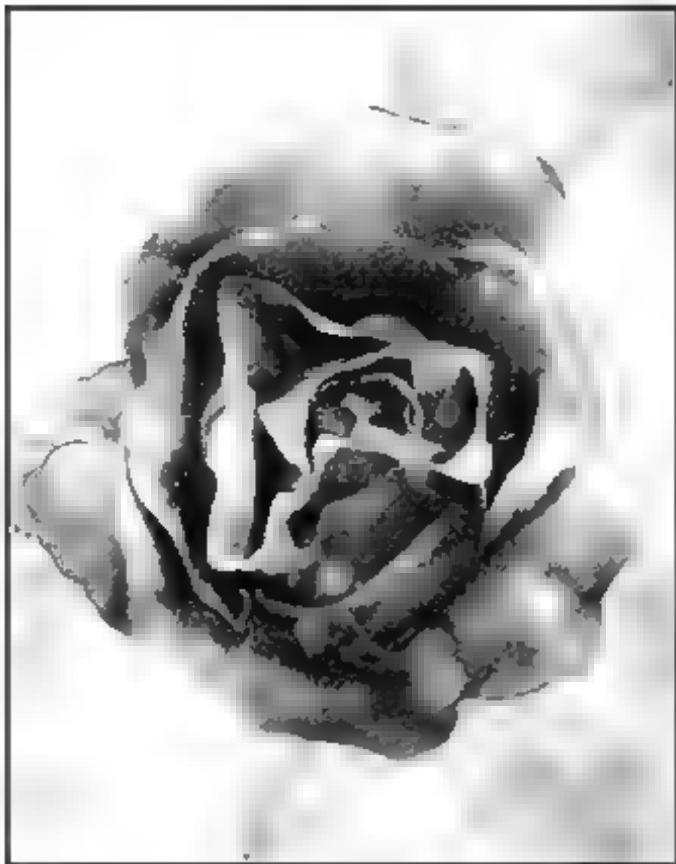
僕の頬に
優しく触れ

白く長い
華奢な指先は



優しく包んだ
僕を

豊かに
揺れる度に
流れ落ちる黒髪が



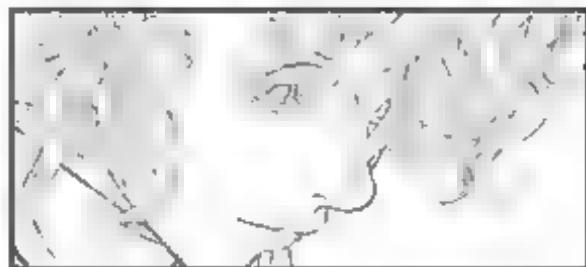
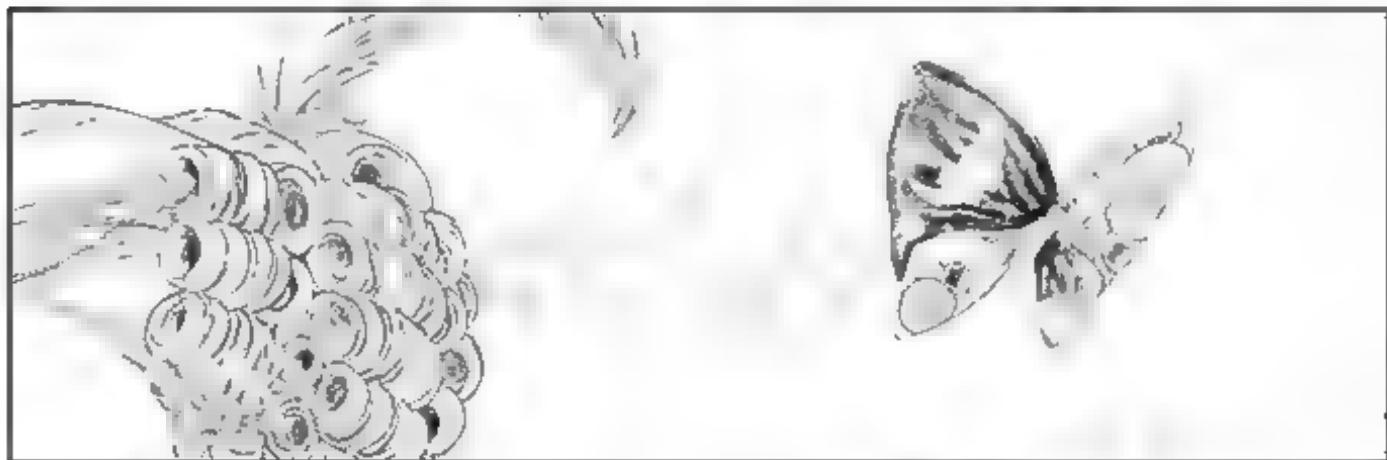
ゴッサンユード・パリ

シャルル・アンリ・サンソンは

no 65 美しき死刑執行人





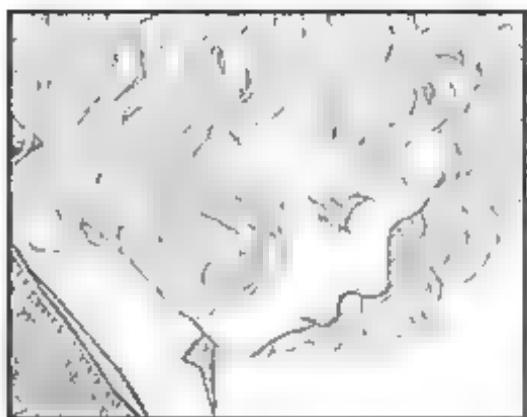


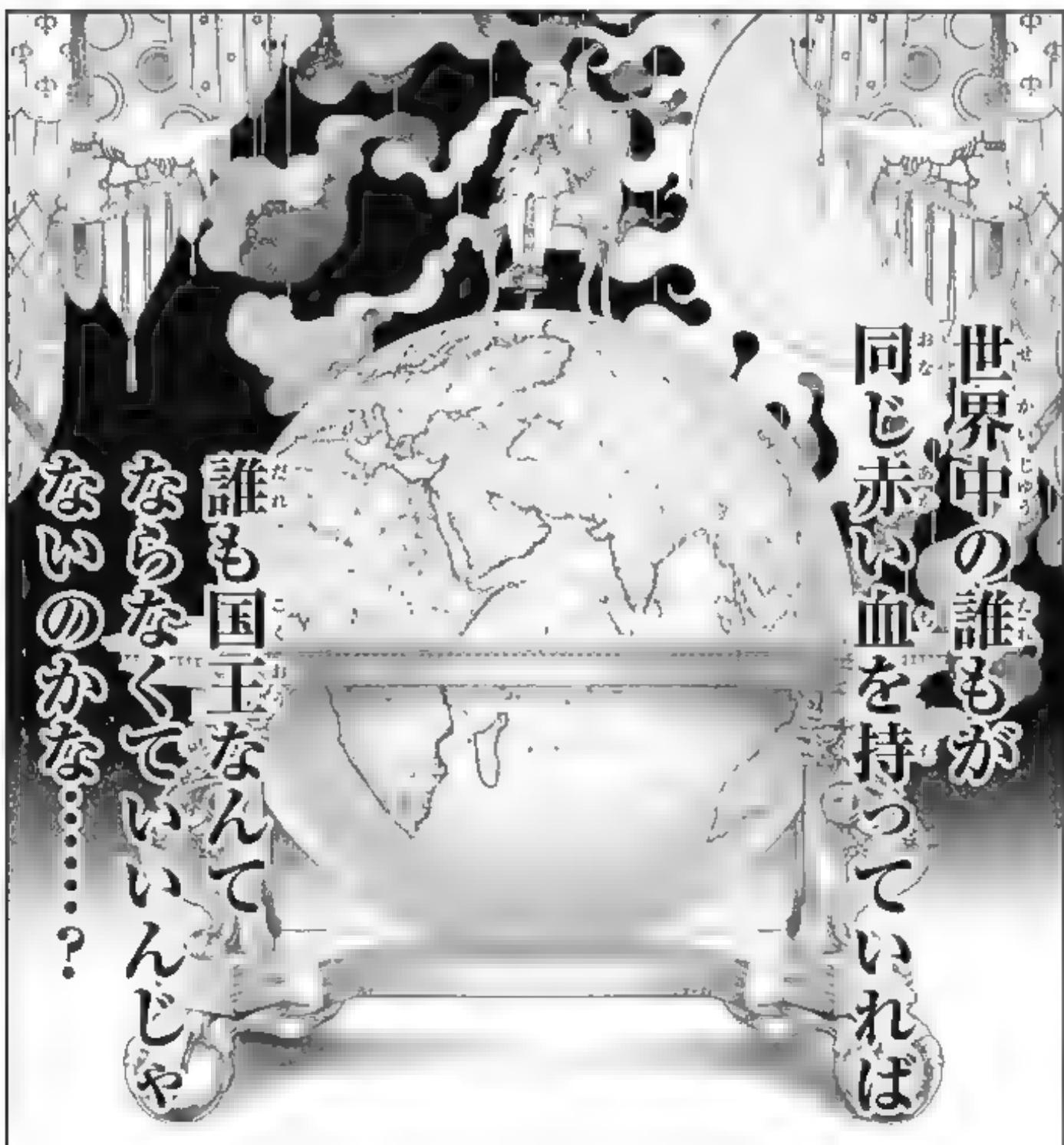
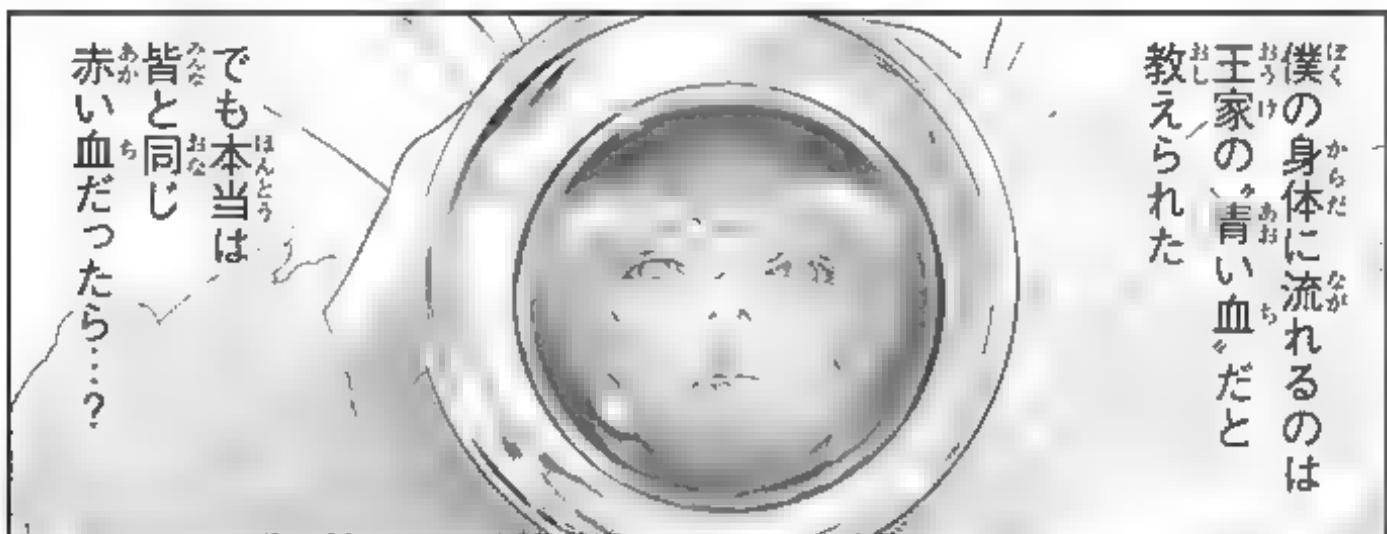


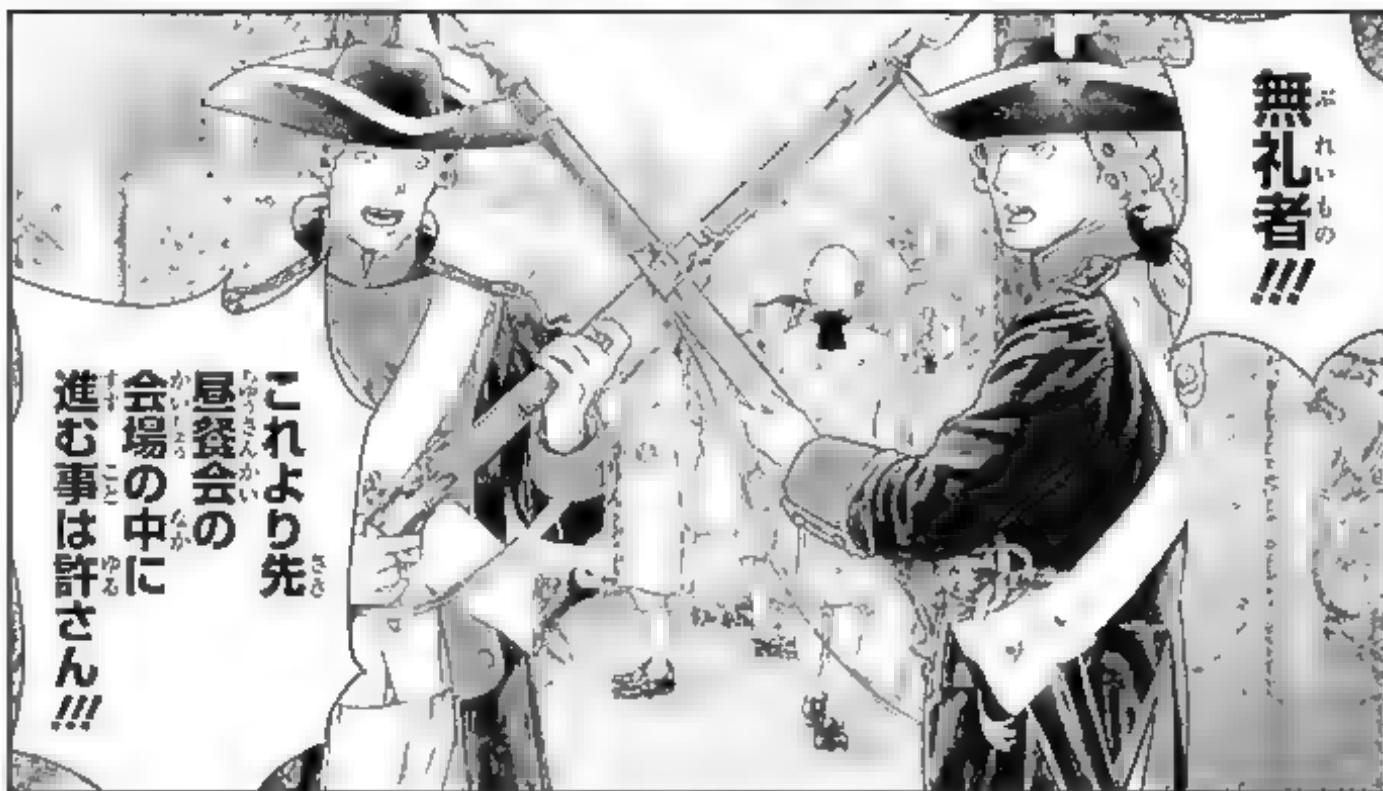
お
い
ルイ
オーギュスト



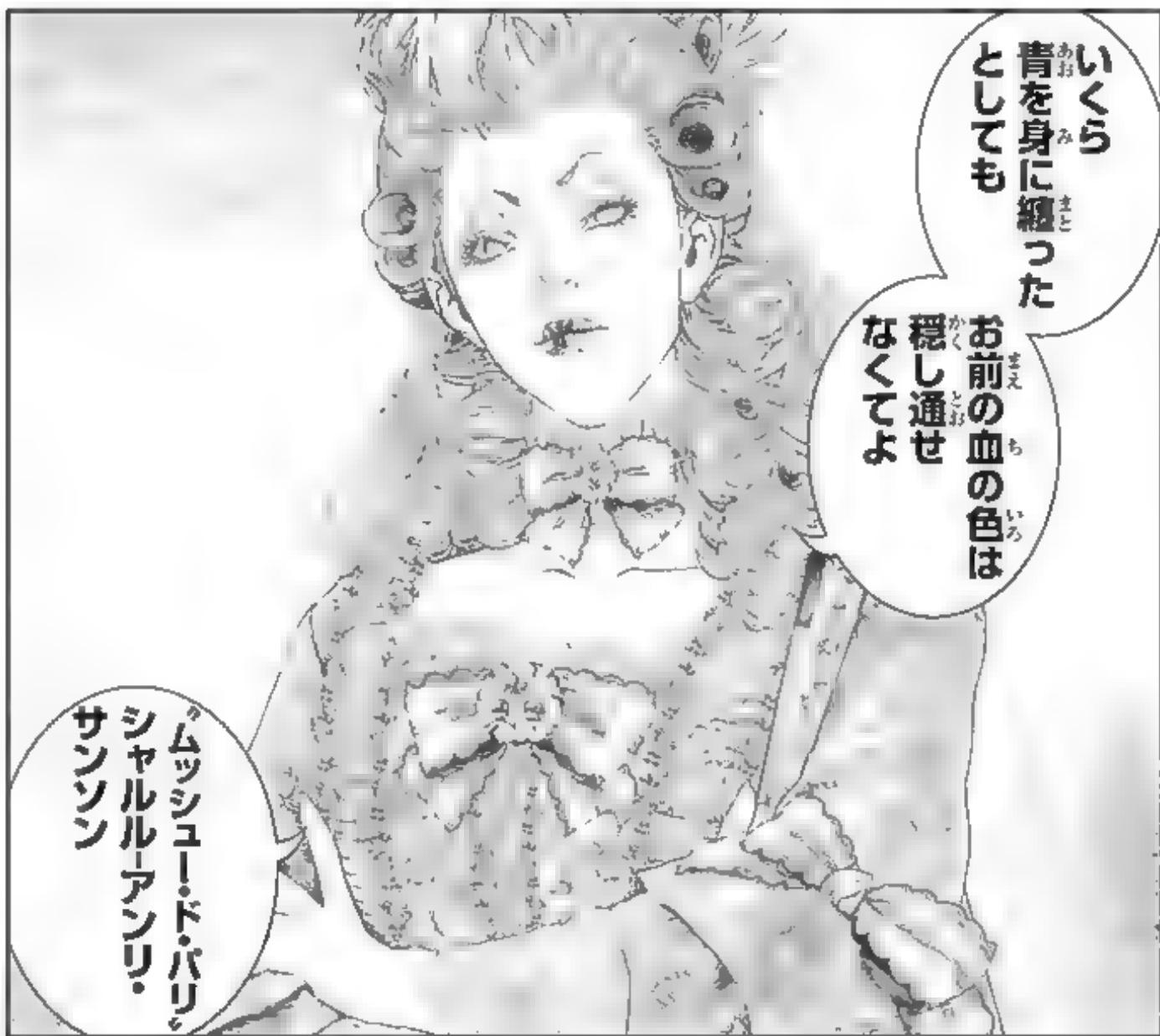


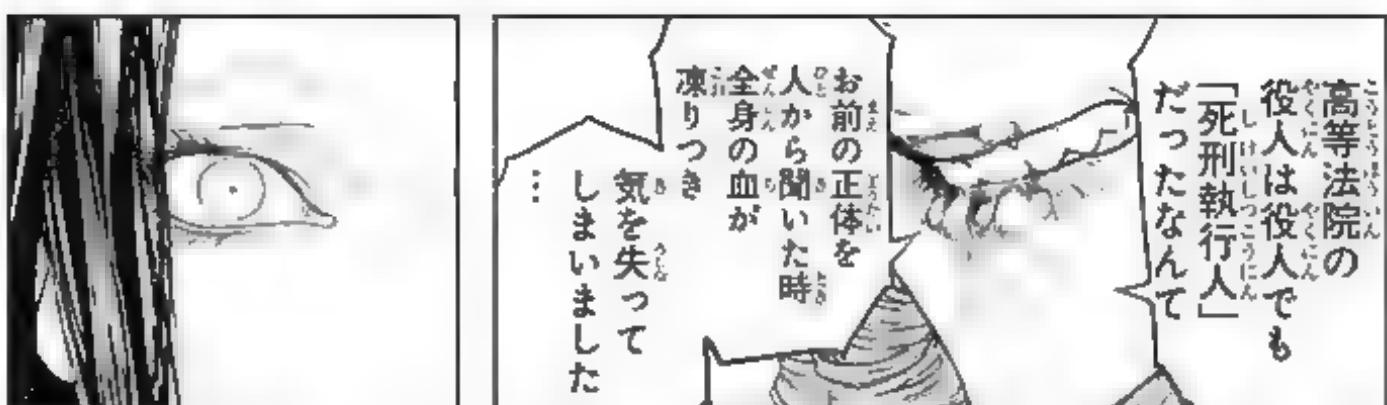








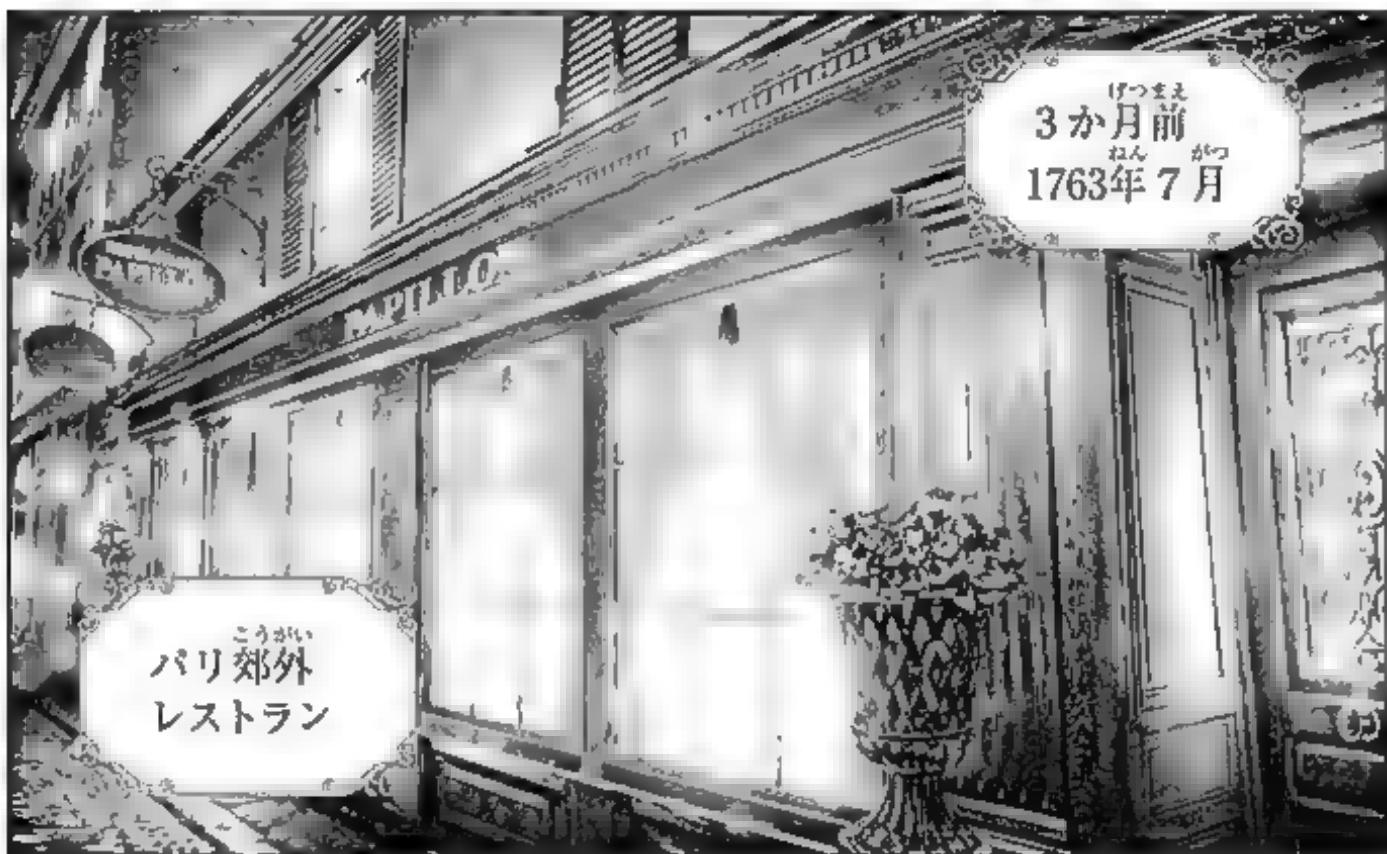




シャルル・アントワネット・サンクルンは

首に綱を巻いて
悔恨を表し、私に謝罪し

今後は死刑執行人と誰にでも
すぐわかる印を衣服及び馬車に
つける事を要求致します!!!



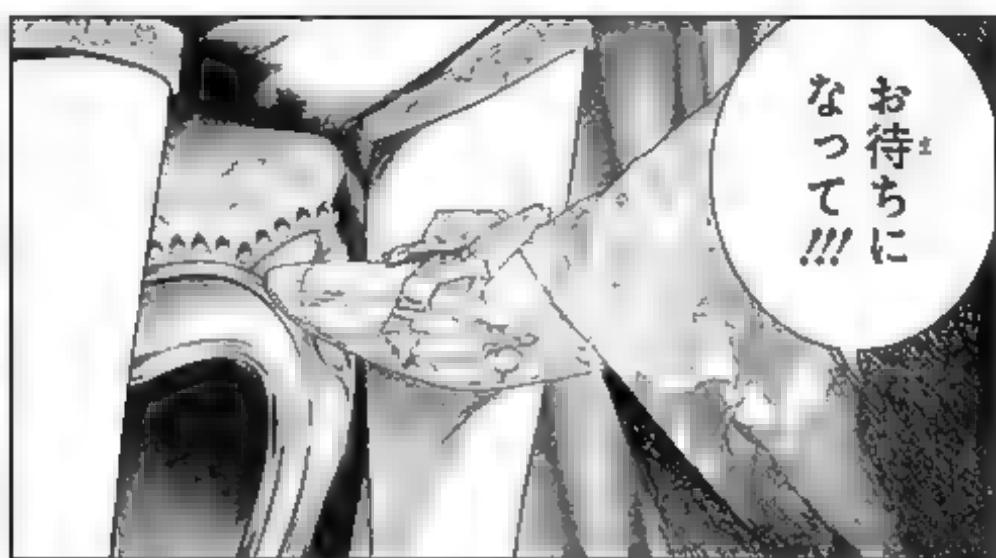
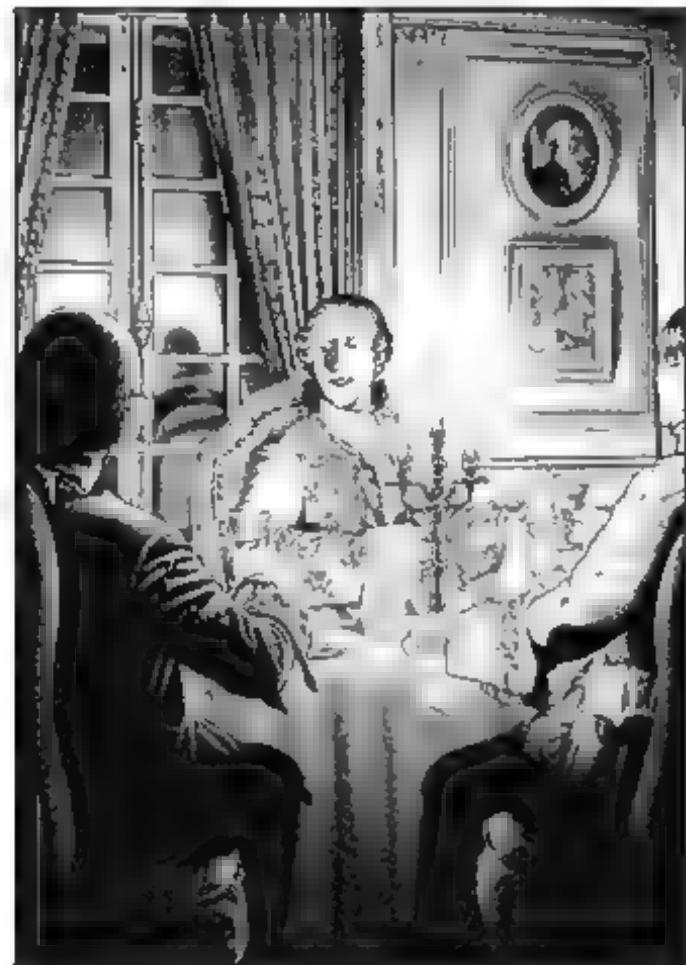
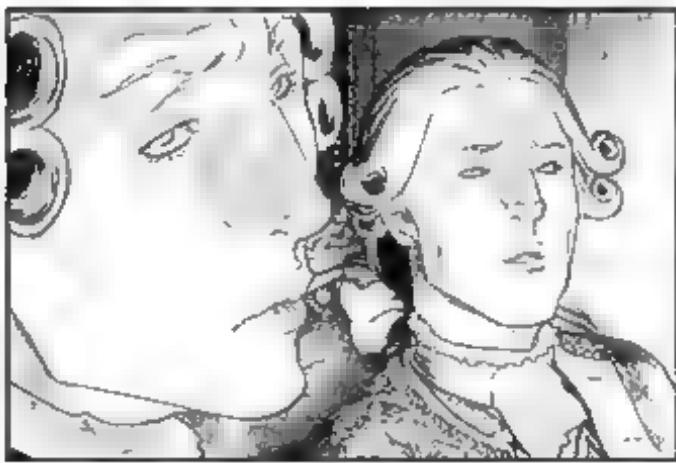


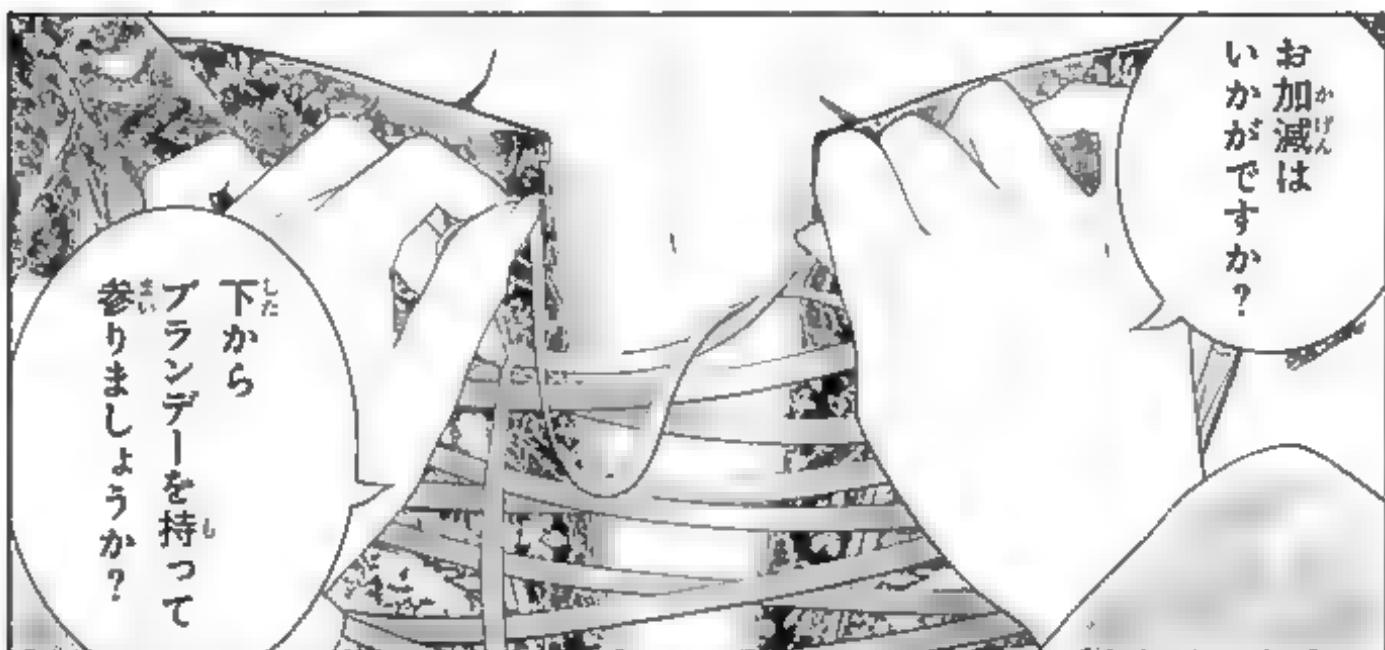
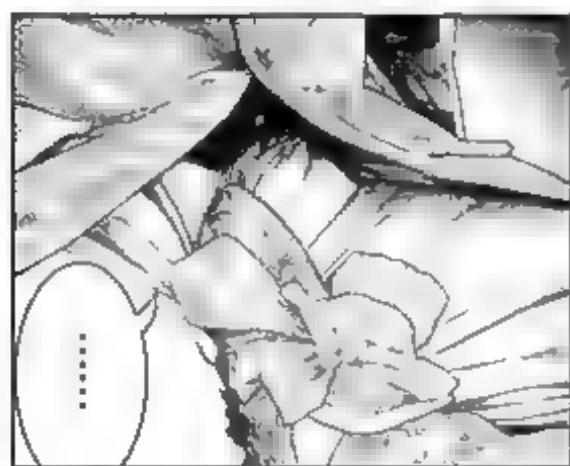
n°66 ある侯爵夫人の訴え











お加減は
いかがですか?



もう
わかつて いる
でしょ?

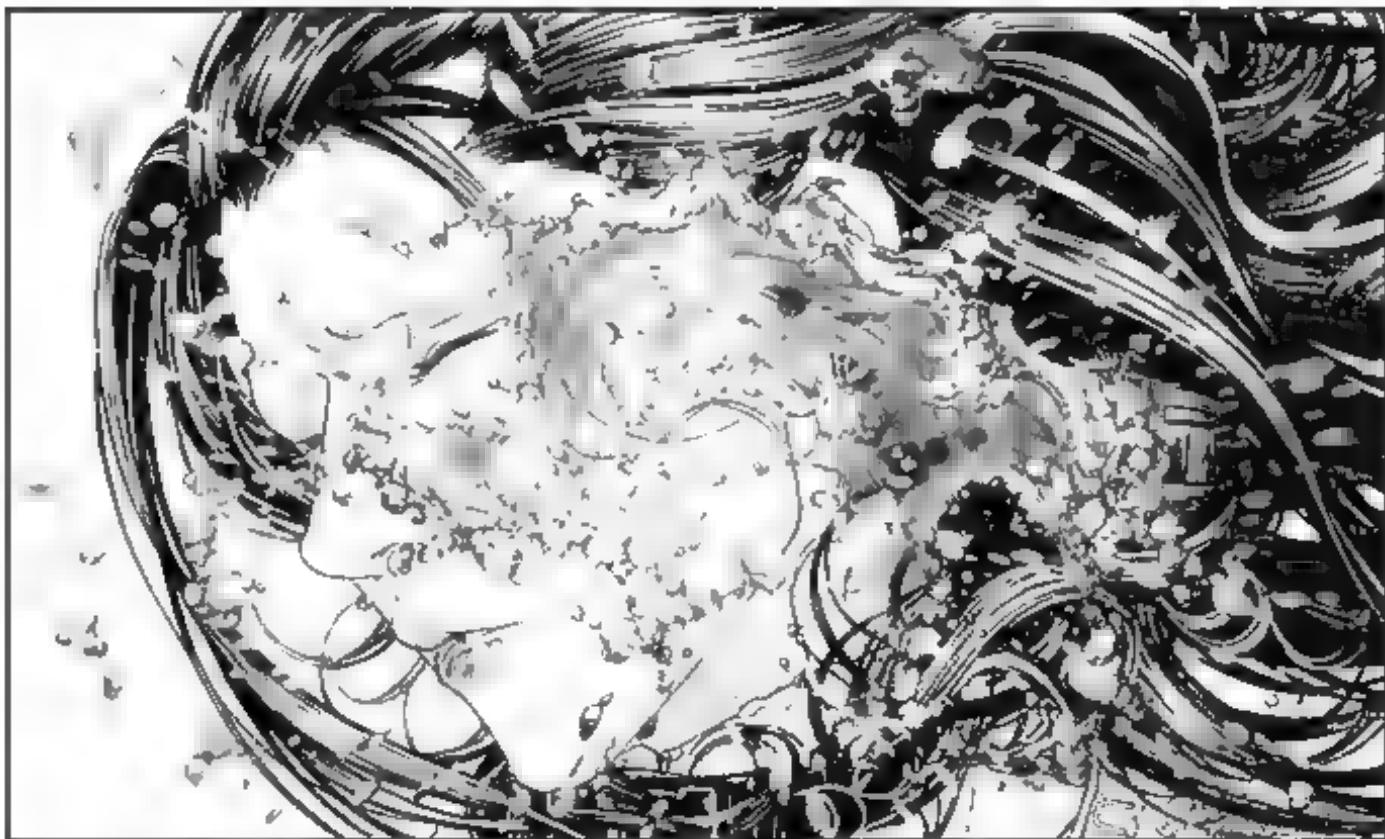
ああ
じれつたいわね



さあ早く
2人で愉しみ
ましよう

あなたが
死神でも
悪魔でも構わない









妹にでも
会いにきたのか
シャルル・アンリ・
サンソン!?

バリの死神が
ベルサイユに
お出ましとは
理やかではないな…



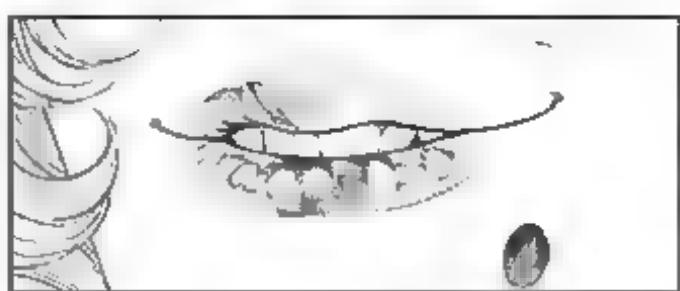
正直に
申してみよ!!!

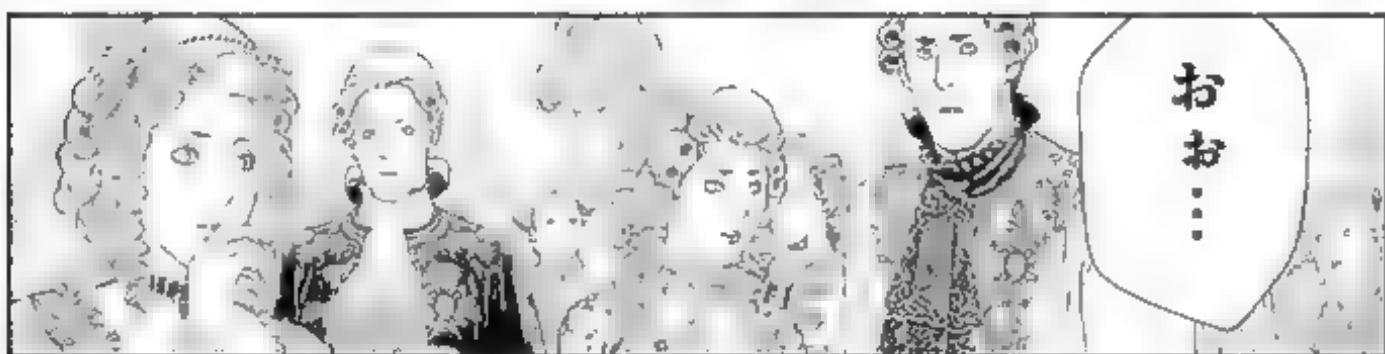
誰だお前のような
不淨の者を
榮えある国王陛下の
昼餐会に招待するなど
といふ愚か者は…耶

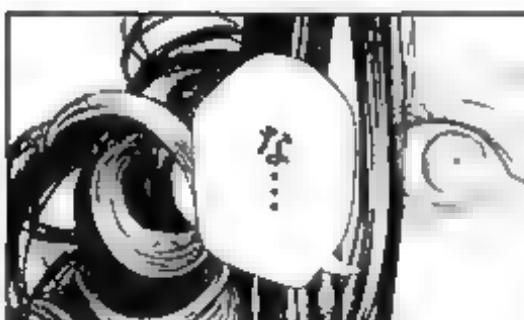
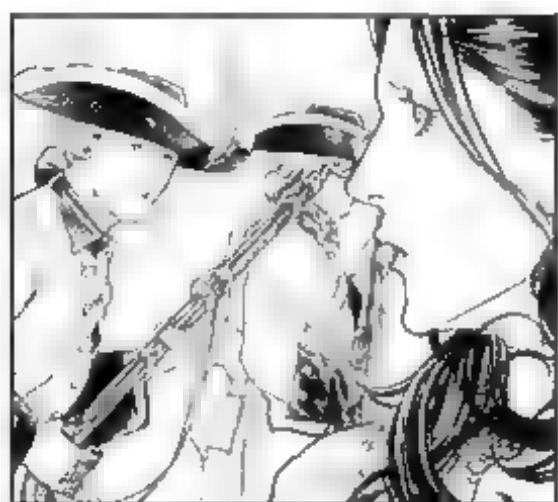
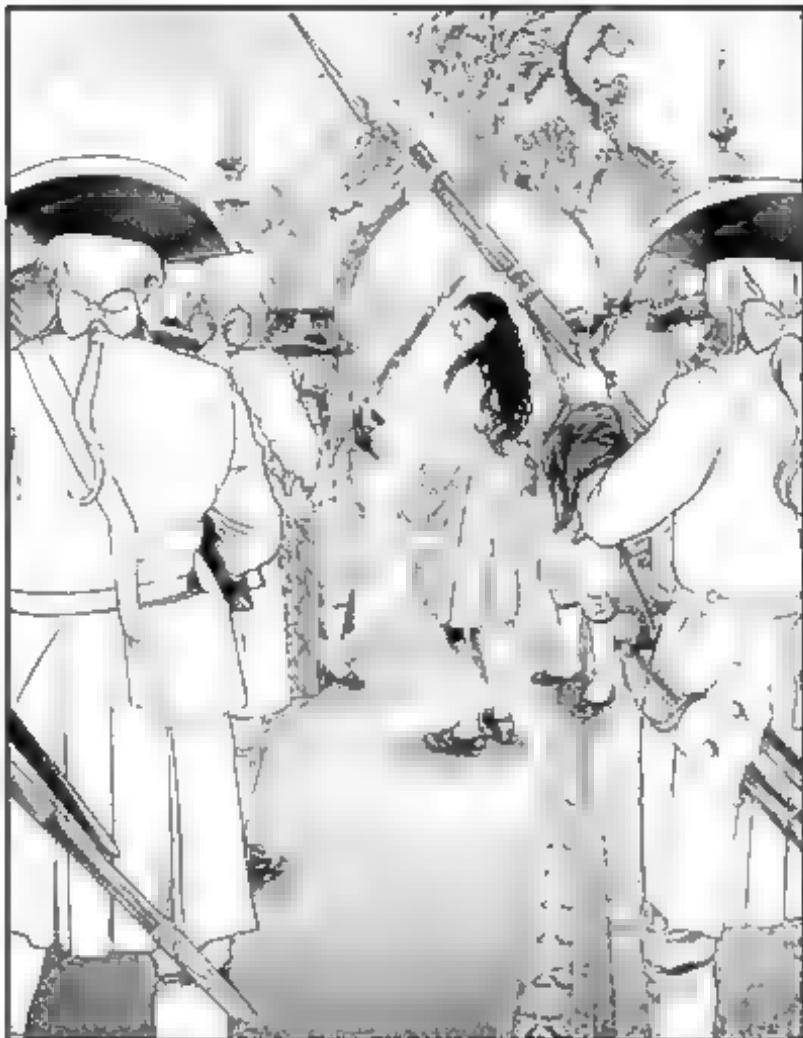


正式に昼餐会の
招待を受けて
参上致しました

いえ…







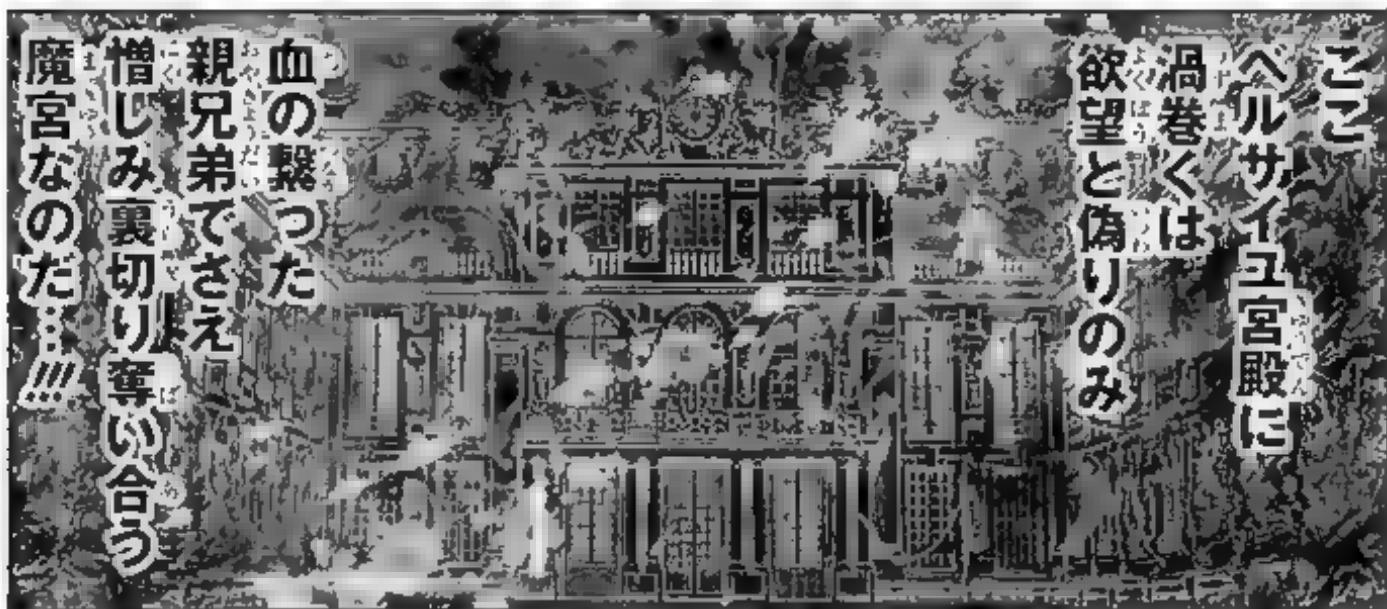




シャルル・アンリ・
サンソン^{サンソン}!

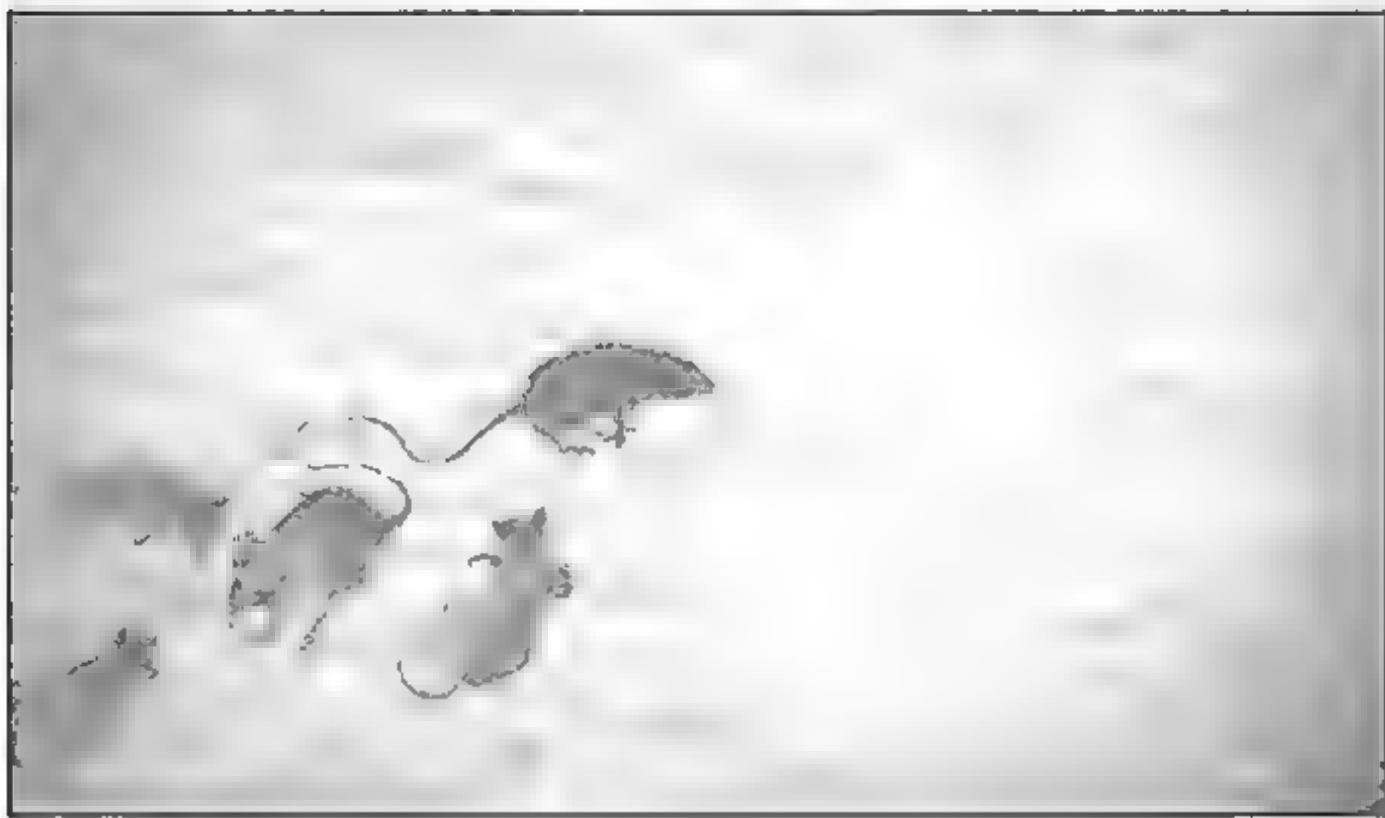
ベルサイユ宮殿の
軍需備^{ぐんしょび}を司^くる
ブレヴォテード・
ロテル^{ロテル}として
お前^{まへ}を拘束^{こうそく}する!!!



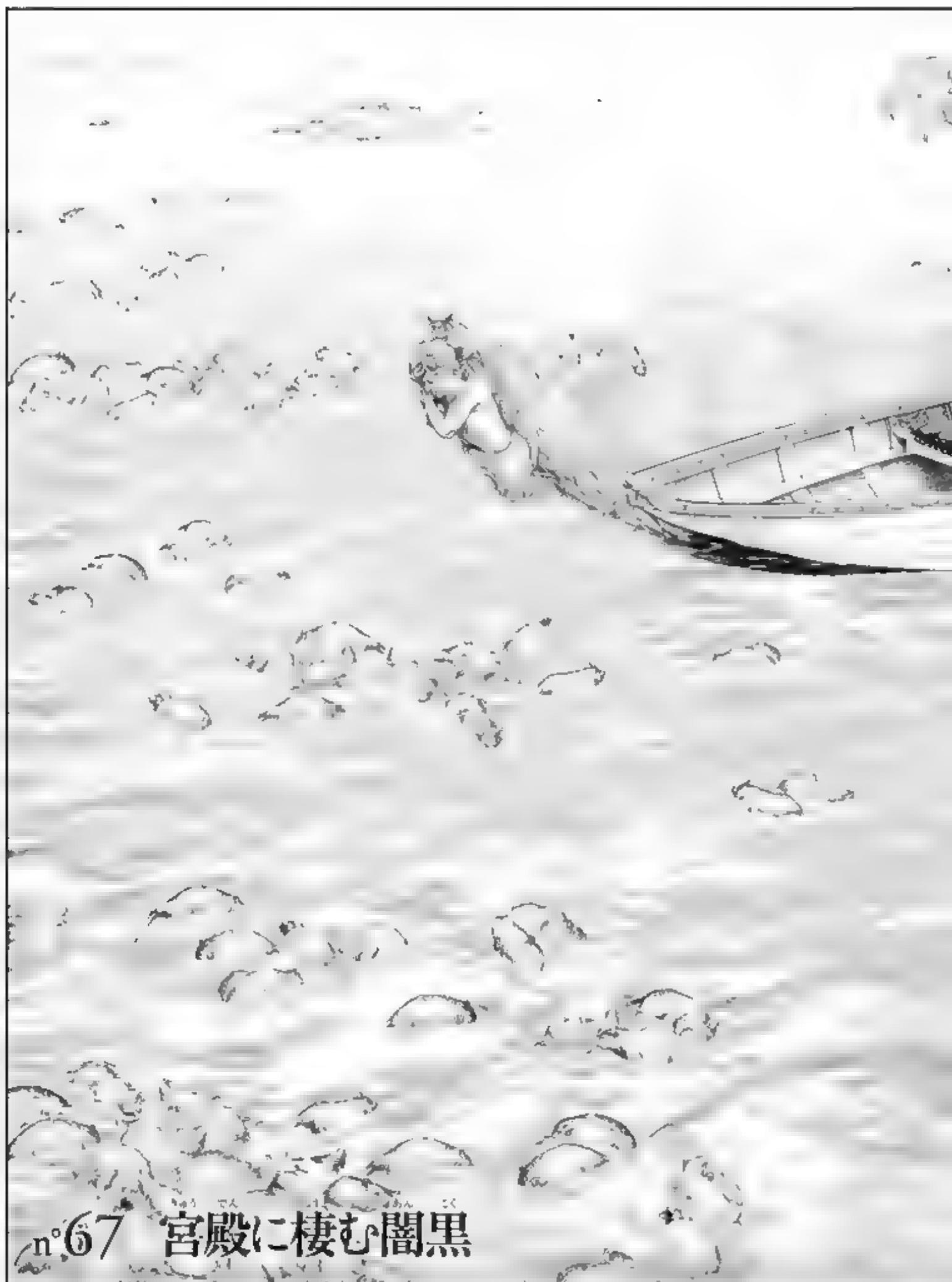


血の繫つた
親兄弟でさえ
憎しみ裏切り奪い合う
魔宮なのだ

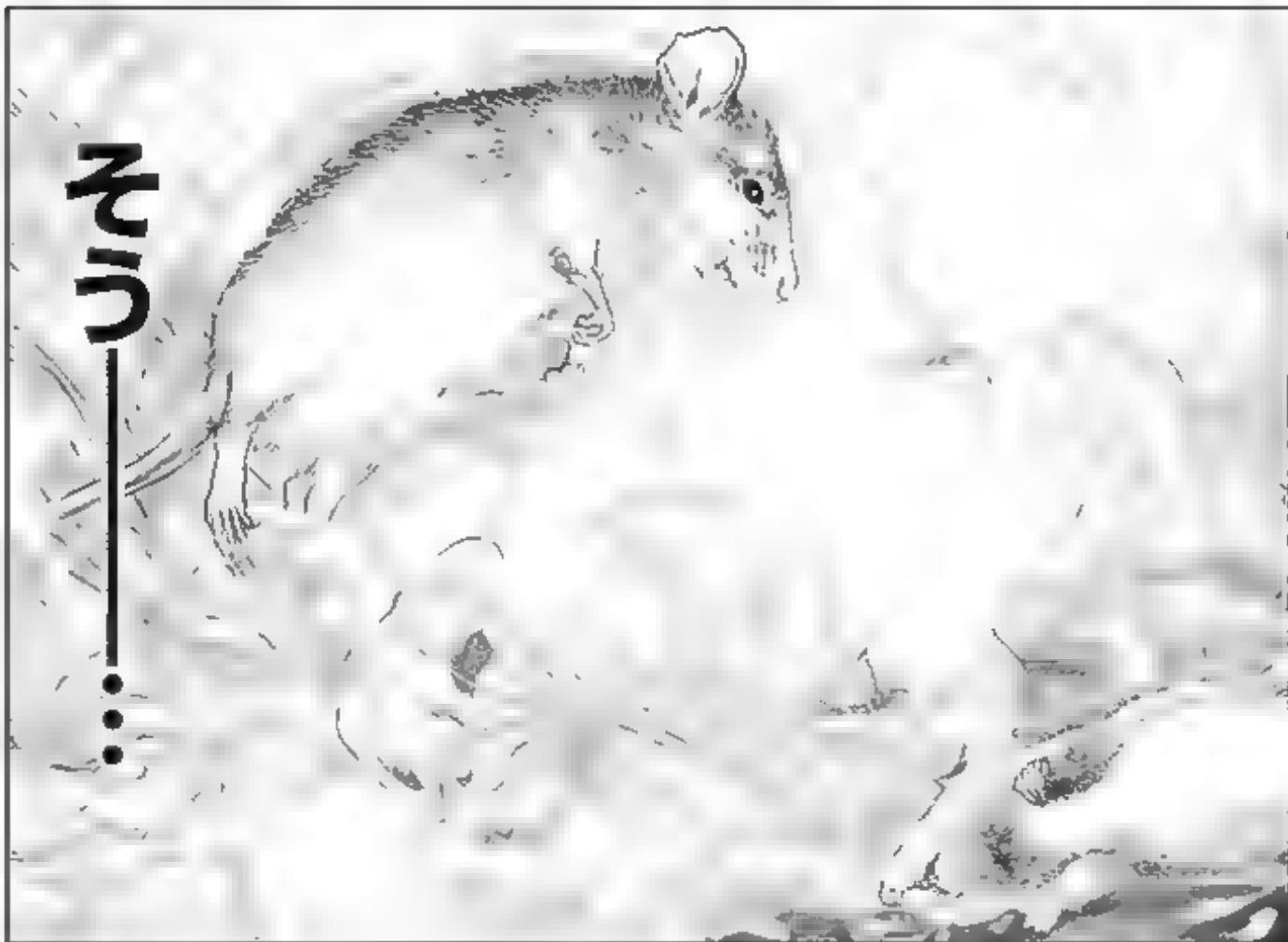
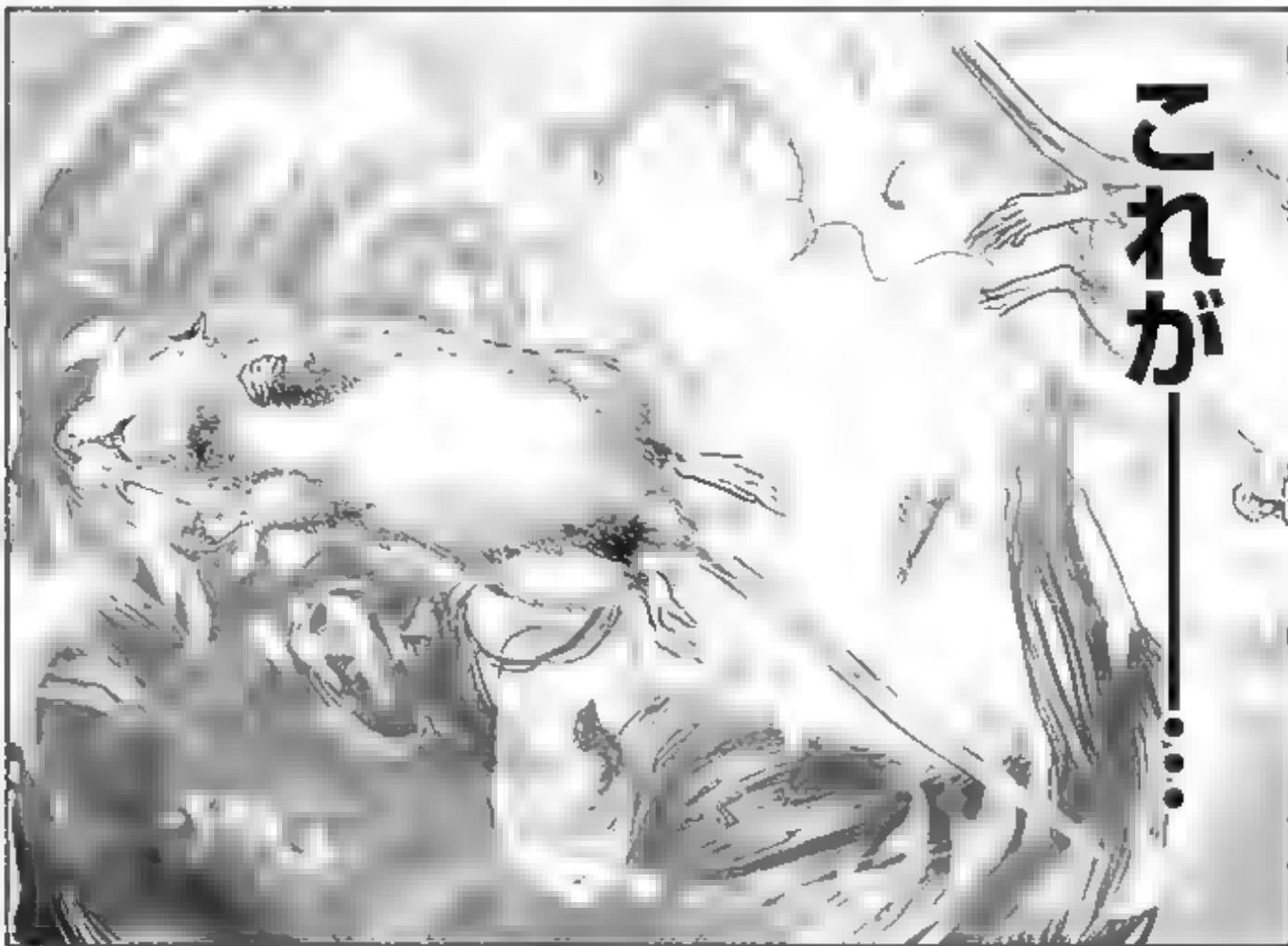
これも全てあの愚鈍な
ルイオリギュストを陥れ
王位継承権第2位に
躍り出る為の
筋書きなのだよ







n°67 宮殿に棲む闇黒



ベルサイユ宮殿

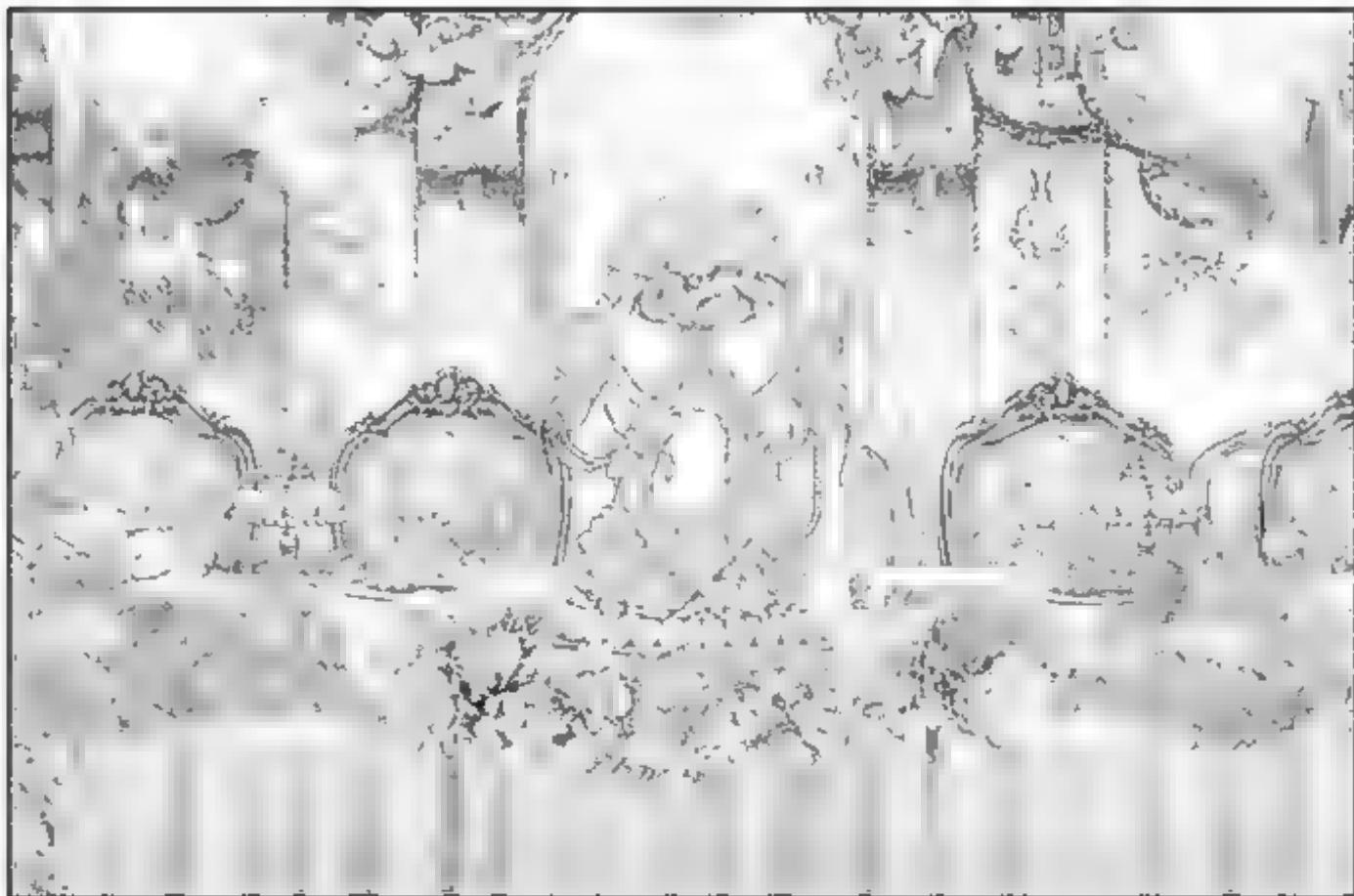
きゆう
でん

!!!

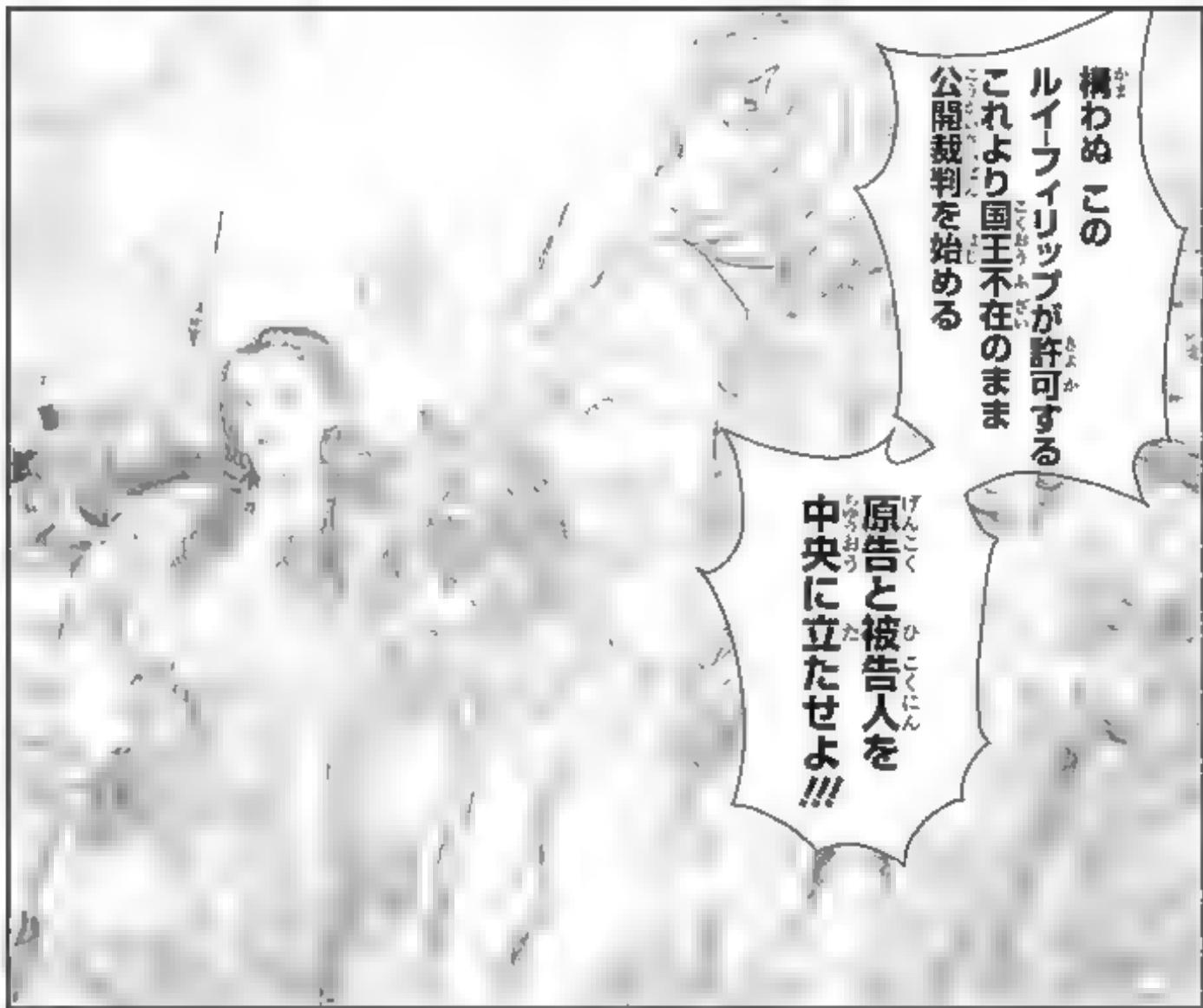
直接
陸下の元に
連行するのだ!!

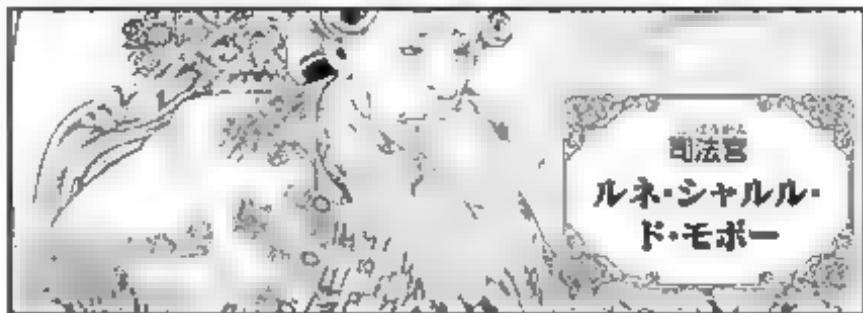
昼餐の宴を
横ぎるのも無理だ
裏を抜けて

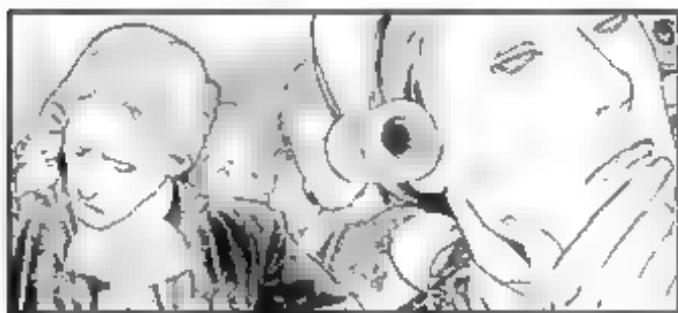
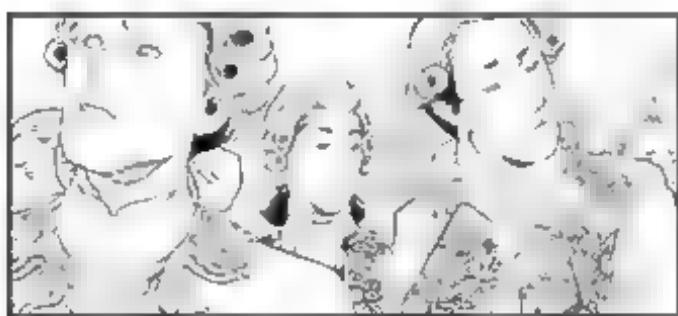
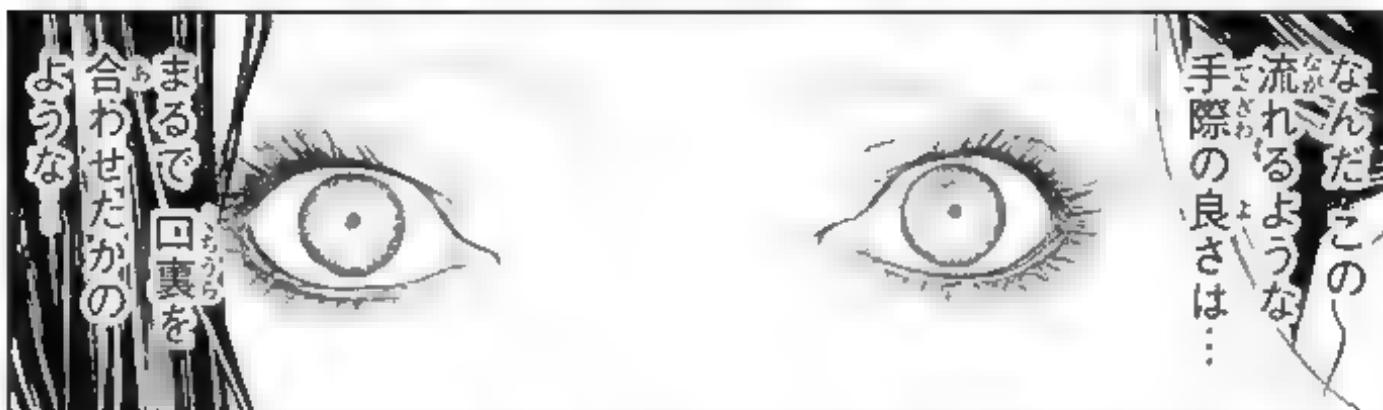
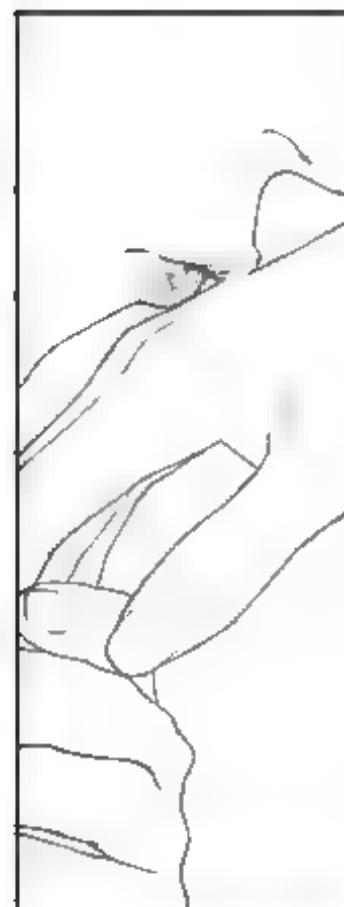














ふむ 仕方が
ありませんな

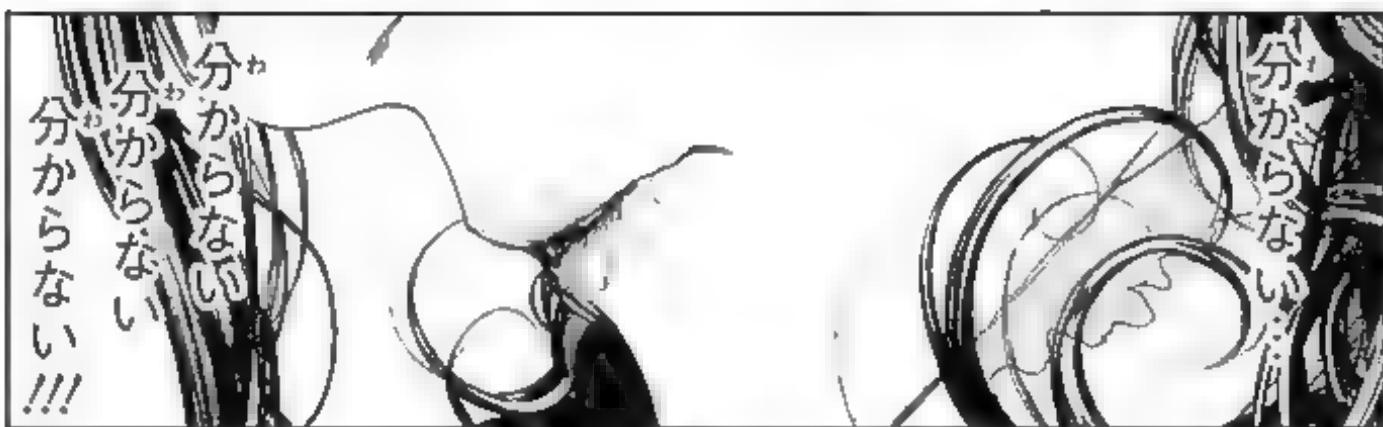
サンソン殿は
弁護人は
無しという事で



只今より この唇登会を
カリはうこう
バリ高等法院の
仮法廷とし

マルレ侯爵夫人の訴えにより
死刑執行人
シャルル・アンリ・サンソンの
裁判を執り行う事とする!!!









誰もが
煌びやかな外見とは
裏腹に

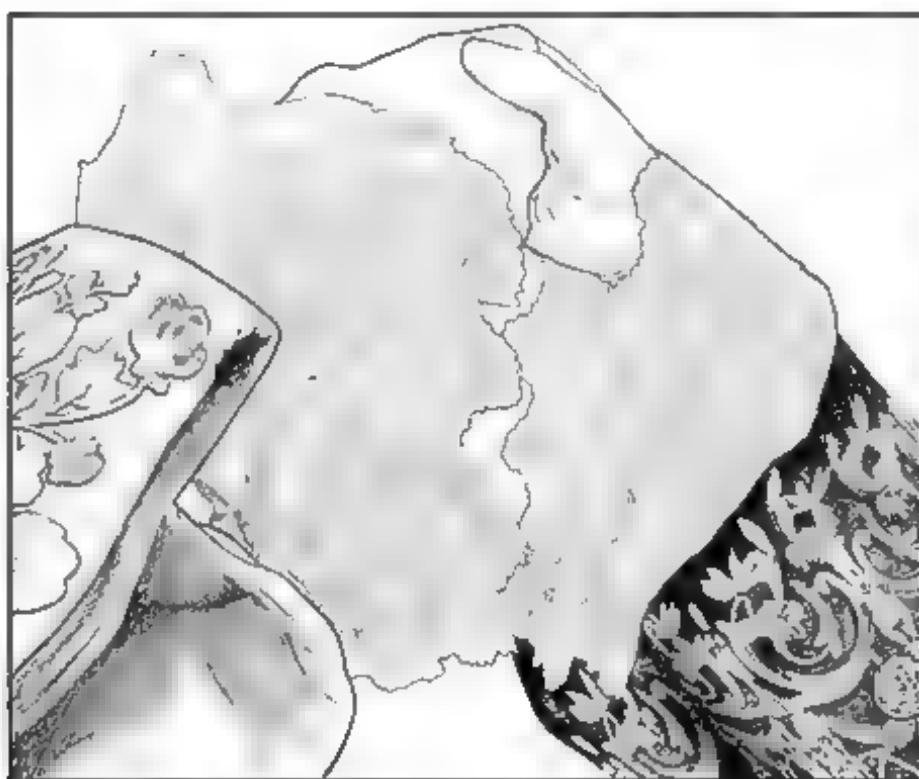
抱えてい
るのさ
薄汚ねえ
闇を

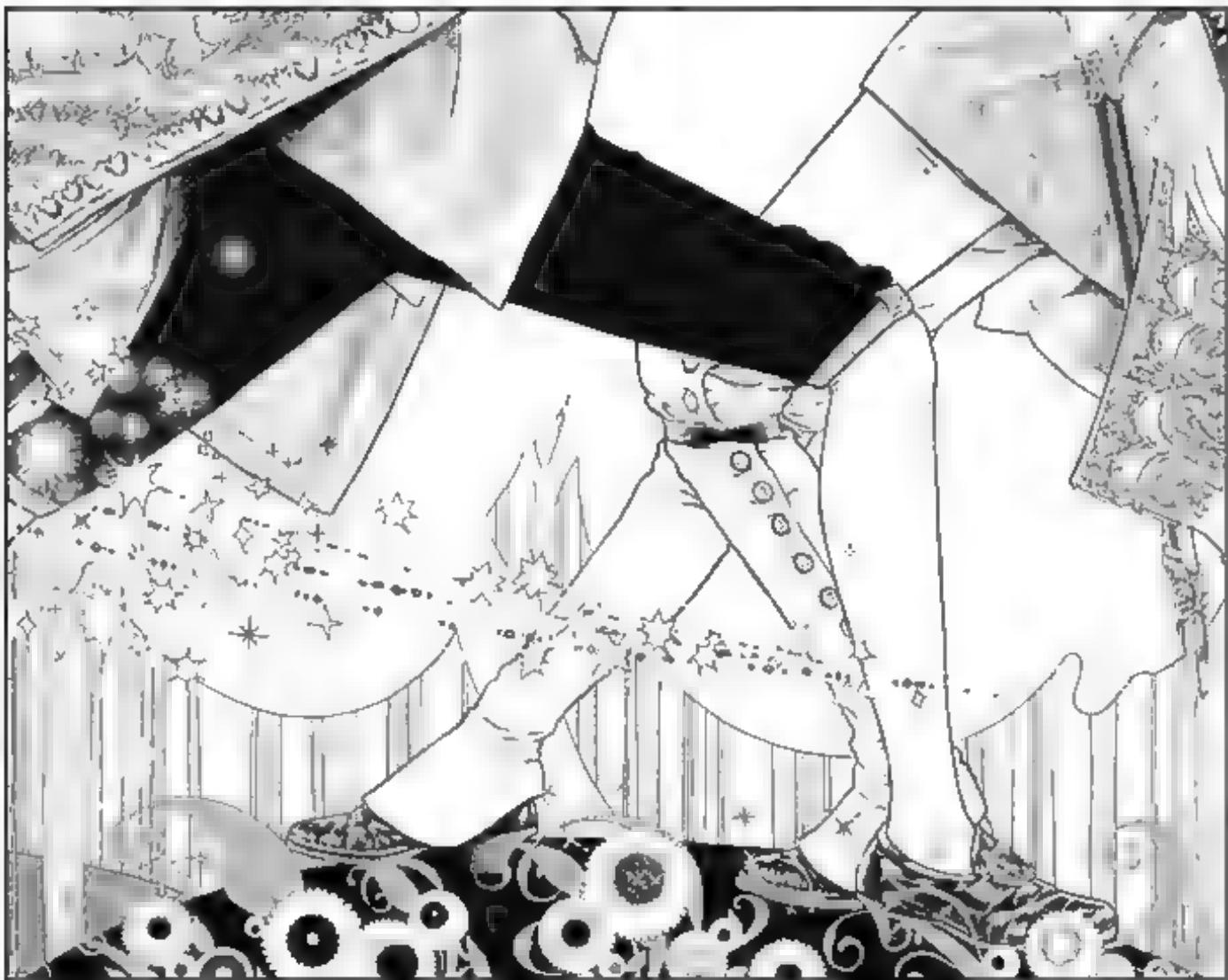












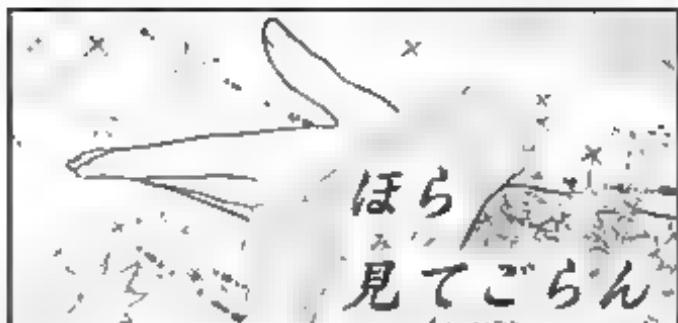


僕の瞳を
見つめてござらん
マリー

n°68 正義の光

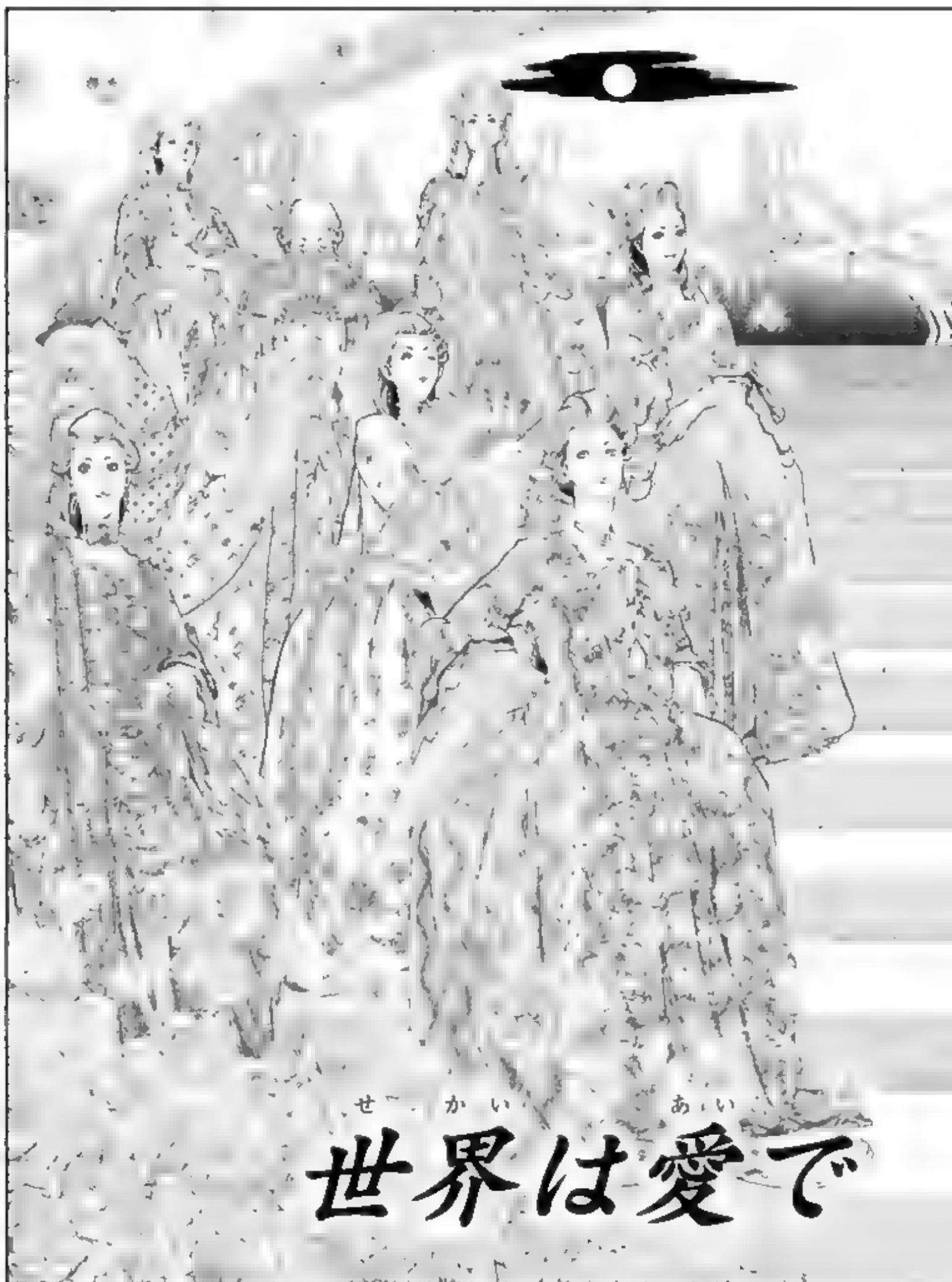








満ちている—!!!

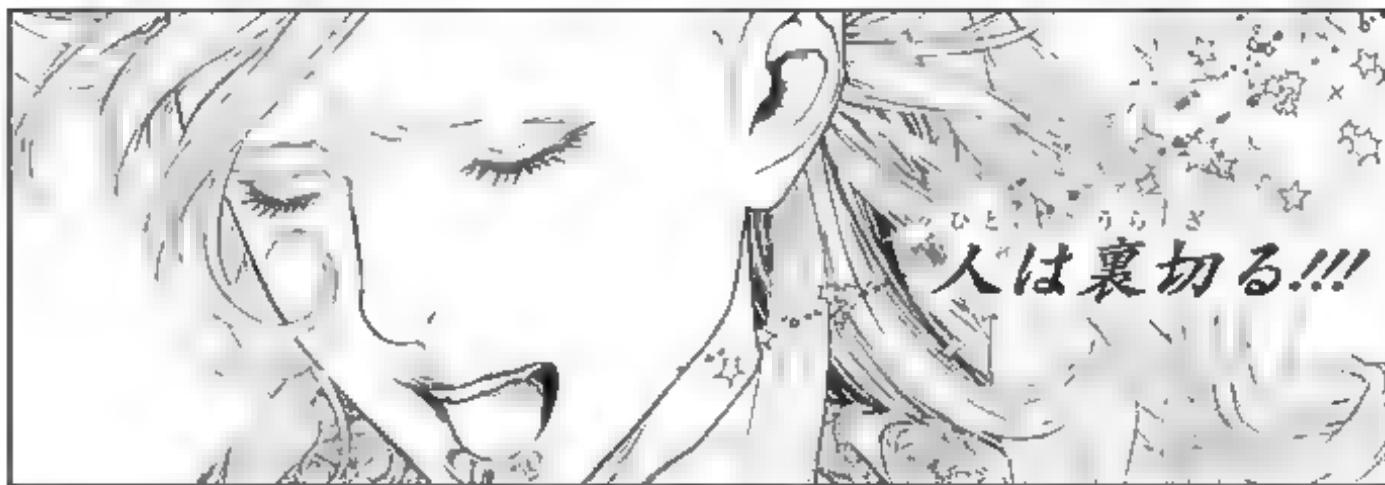




マリー 世界は奇跡で
満ち溢れている



世界は変わった!!!



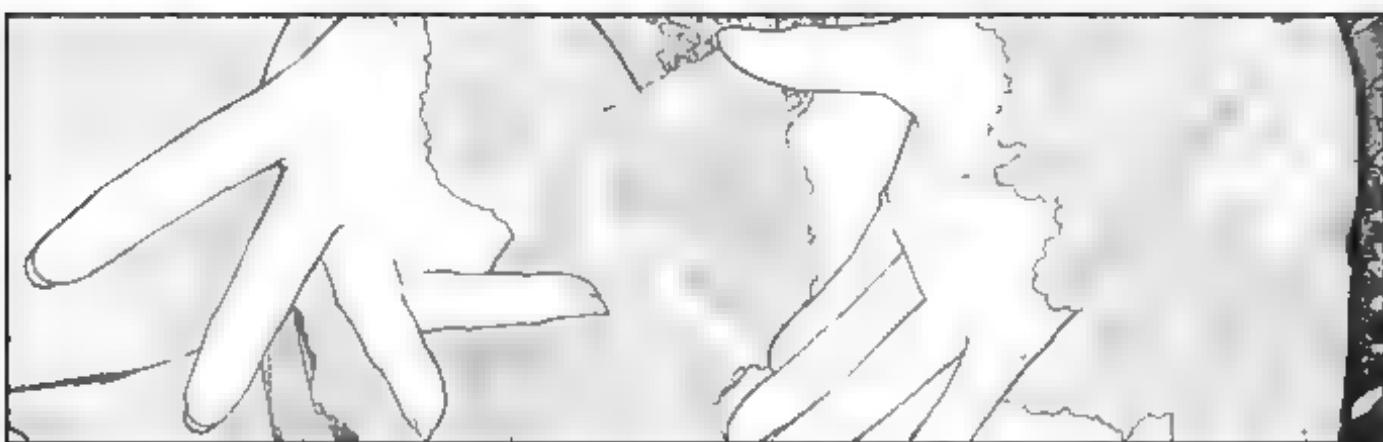
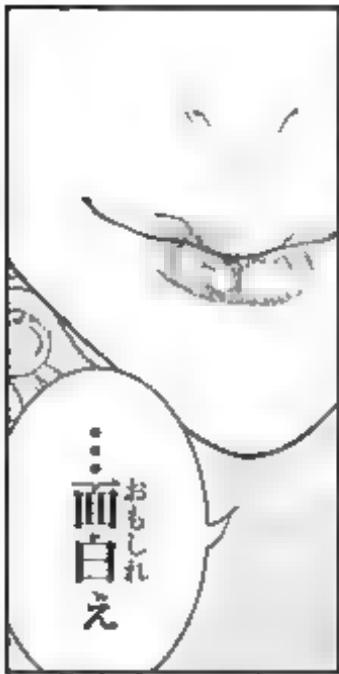


人間は素晴らしい
この世に生きる全ての生命は
歡喜を分かちあう同志だ!!!











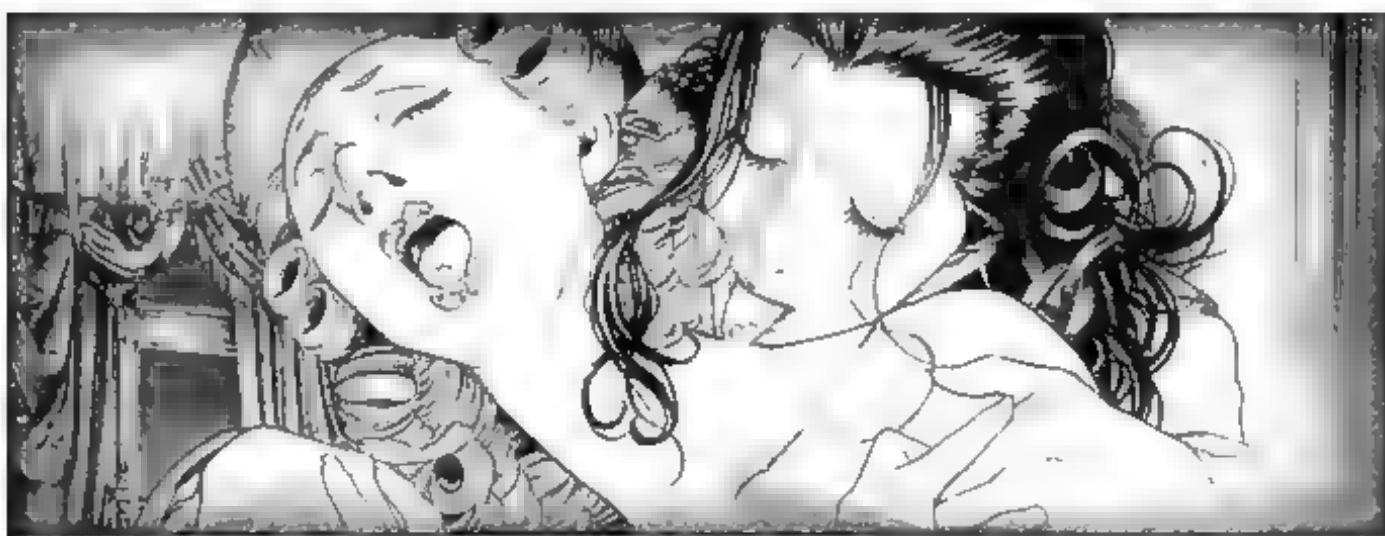
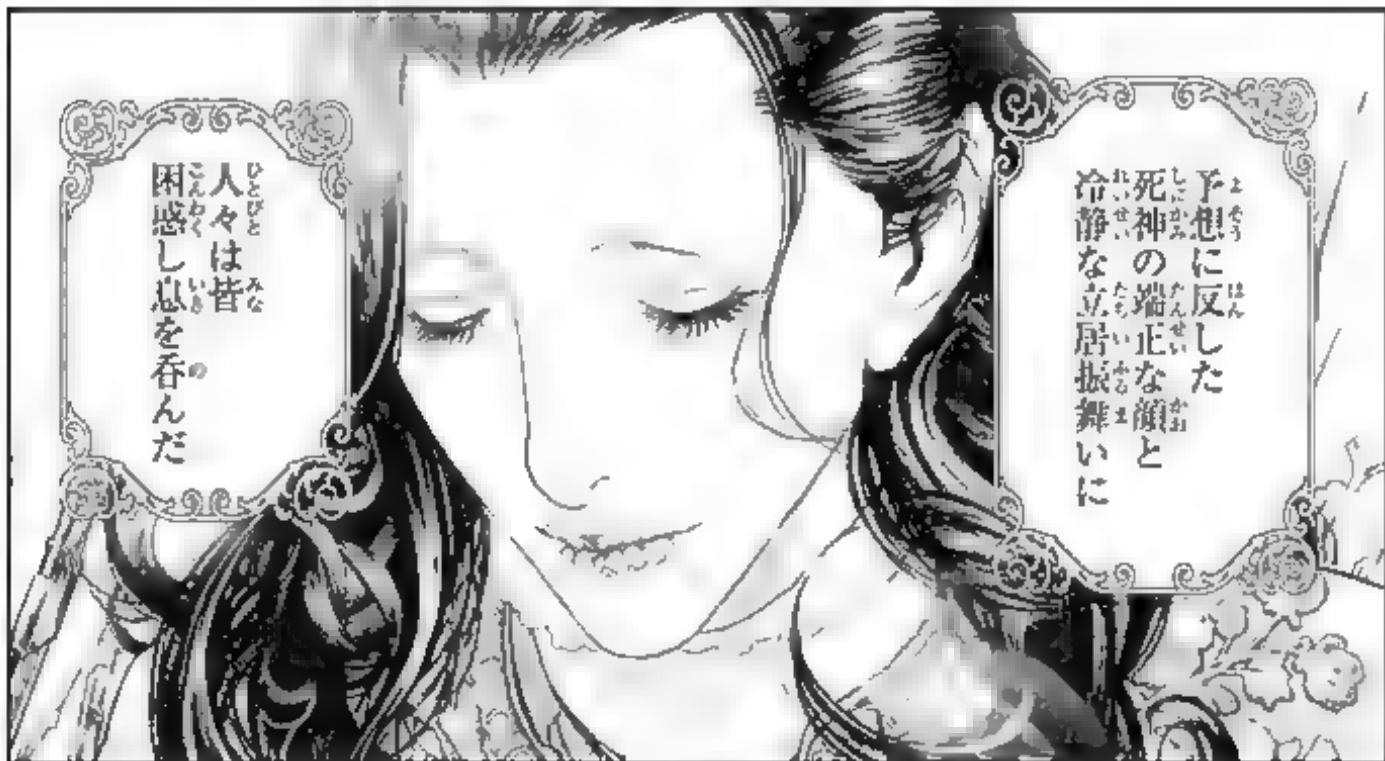
見ていてくれ
マリー

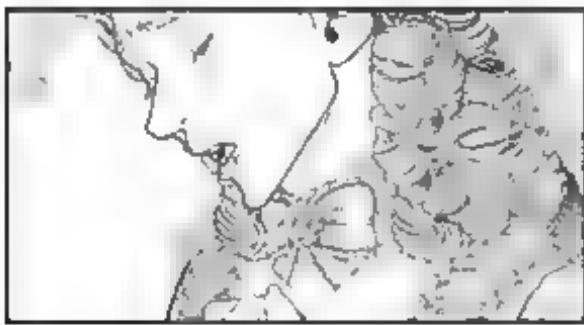


!!!







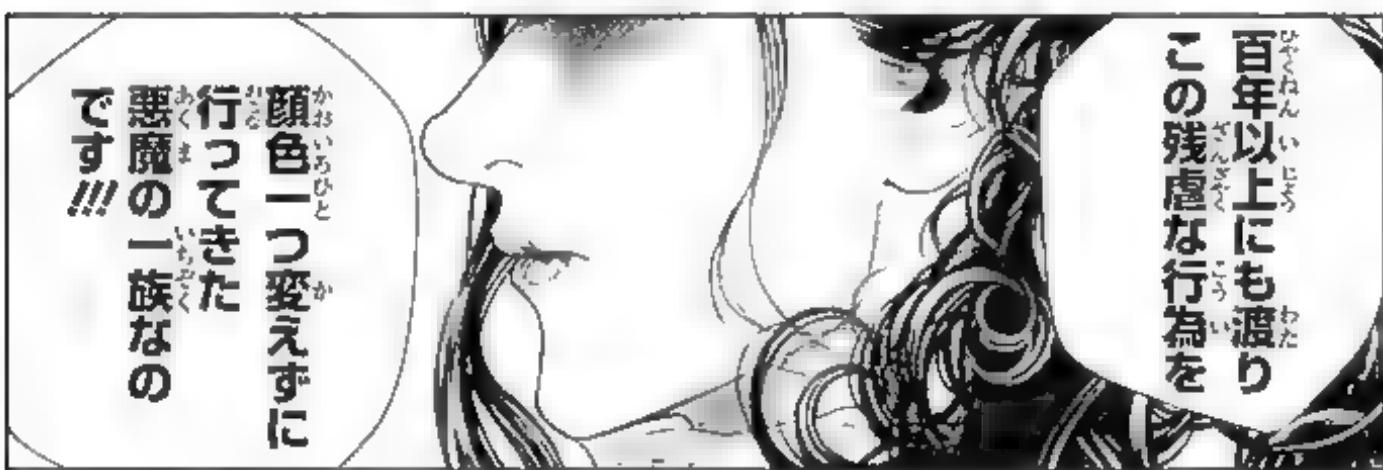
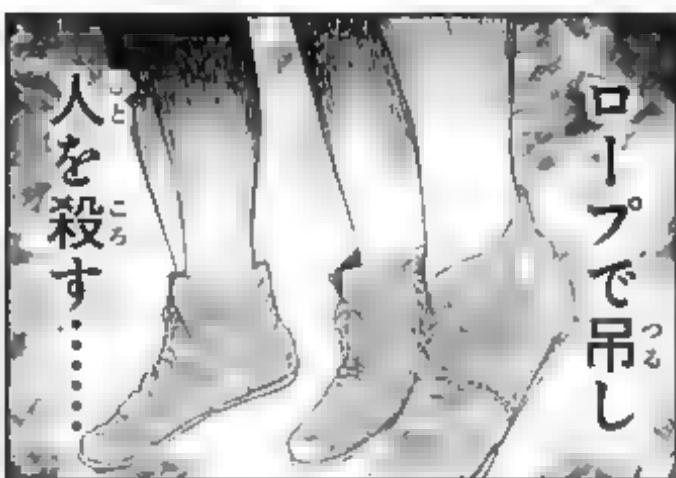


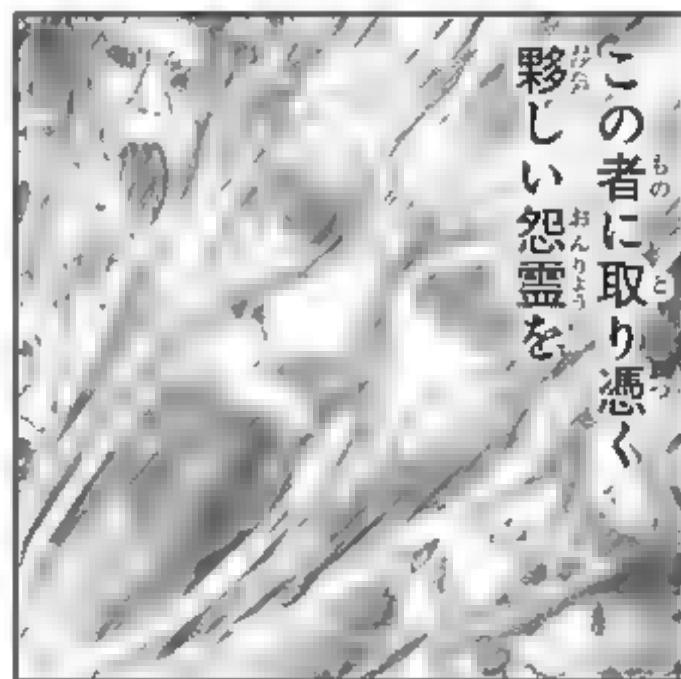
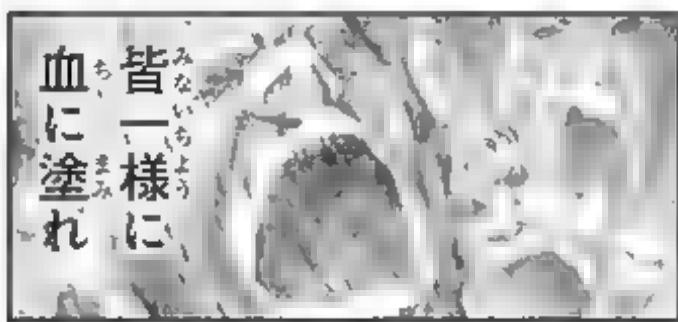


お前に勝ち目は無い
その涼し気な顔も今のはうち

この裁判が終わる頃には
地にひれ伏し、私の靴を舐めながら
許しを請う事になるだろう







シャルル・アンリ・サンソンは
怨靈に取り憑かれた
神に追放されし闇の存在

同じ場にいあわせた
だけでも怨靈に
取り憑かれてしまうぞ!!!



マルレ侯爵夫人の
訴えは万人の為
処刑人に印をつけ
永遠に闇の世界に
閉じこめること…

さも
なれば…



きやあーっ

太陽王の威信に満ちた
この光輝ぐ
ベルサイユ宮ですら



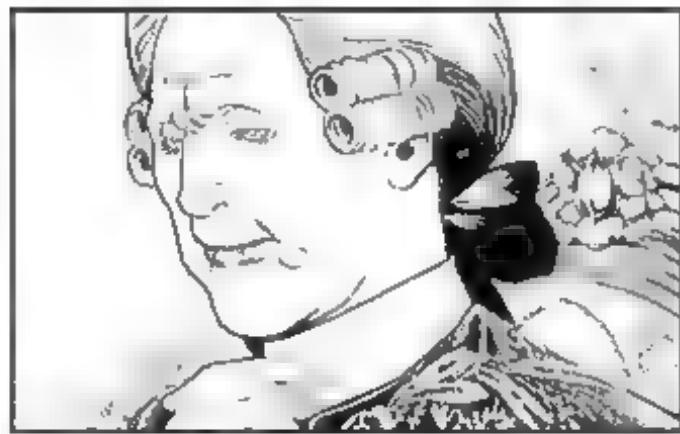
間が押し寄せ
悪靈に覆い尽くされる
ごどでじようう













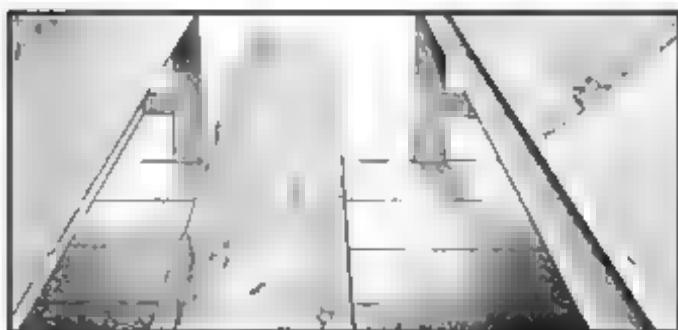






聖体拝領 お詫びの一環で聖餐とワインを飲む儀式



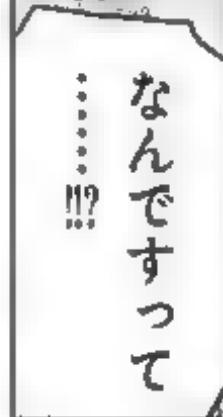




僕はもうかつての僕のようには
沈黙に逃げたりはしない

裁判官殿
私が述べた事は
この場に合わせた
虚勢ではなく
心から生じた
眞実の想いです!!!

傷つくことを怖れていては
新しい時代は
やつて来ないんだ――
!!!



あのゴミ虫と
我ら貴族が
同じ人間だと
書いたような気が
したが……



最悪……

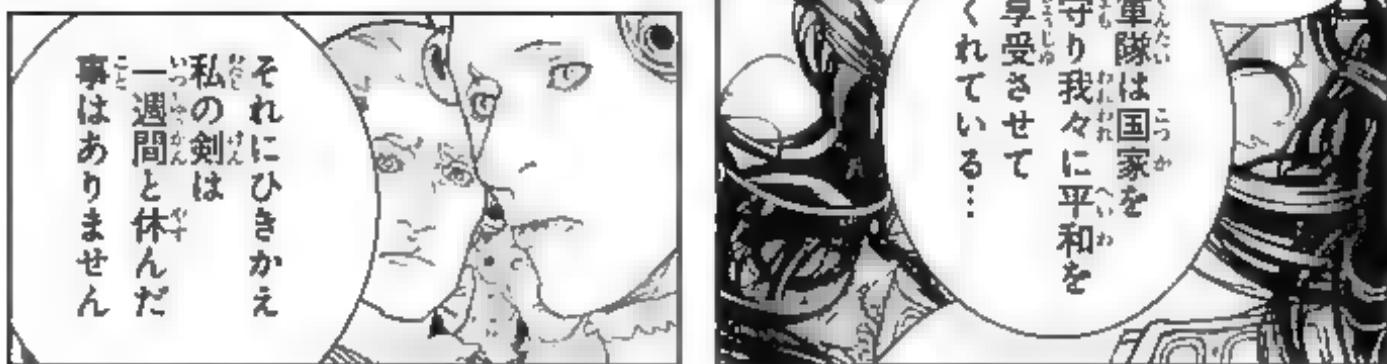
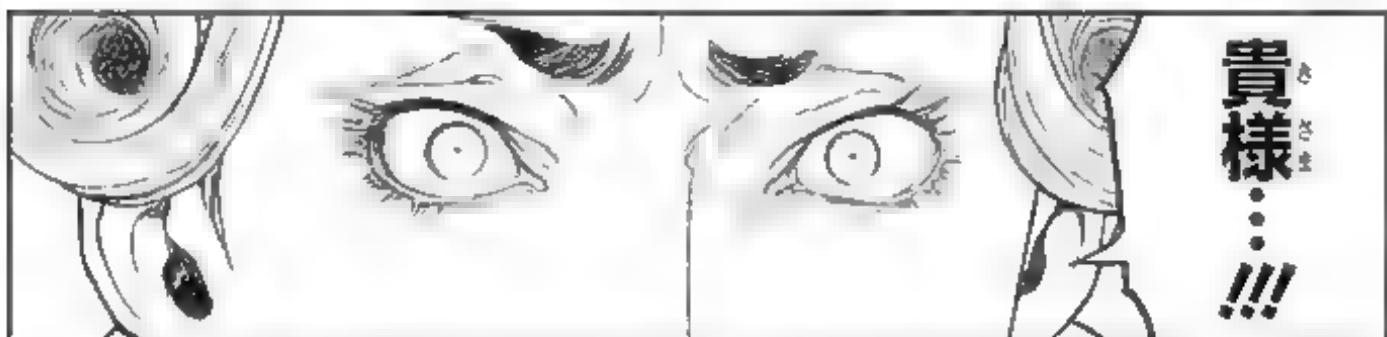








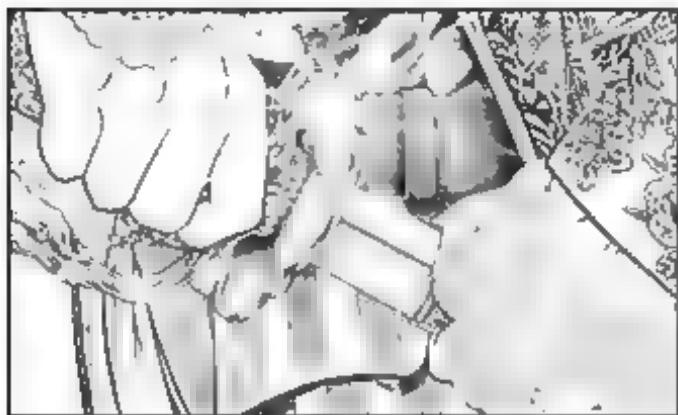




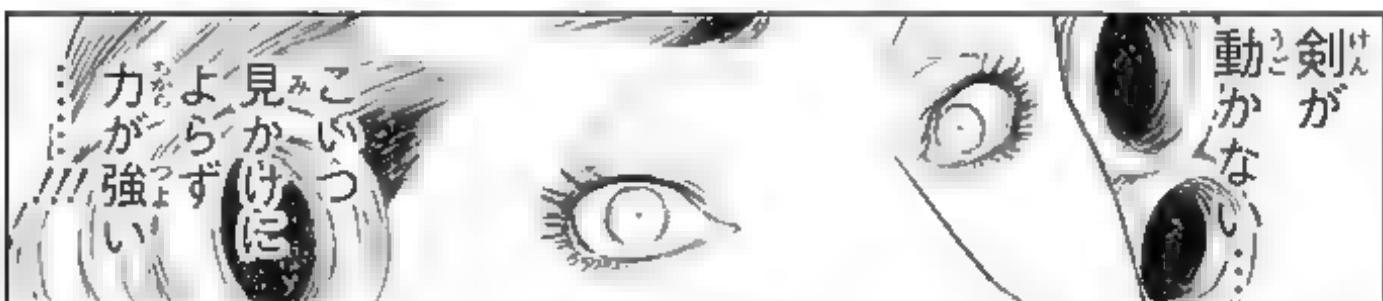
私はシャルル・アンリ・サンクンは
たつた一人で

パリ60万人の安寧を
維持し続けてゐるので
す

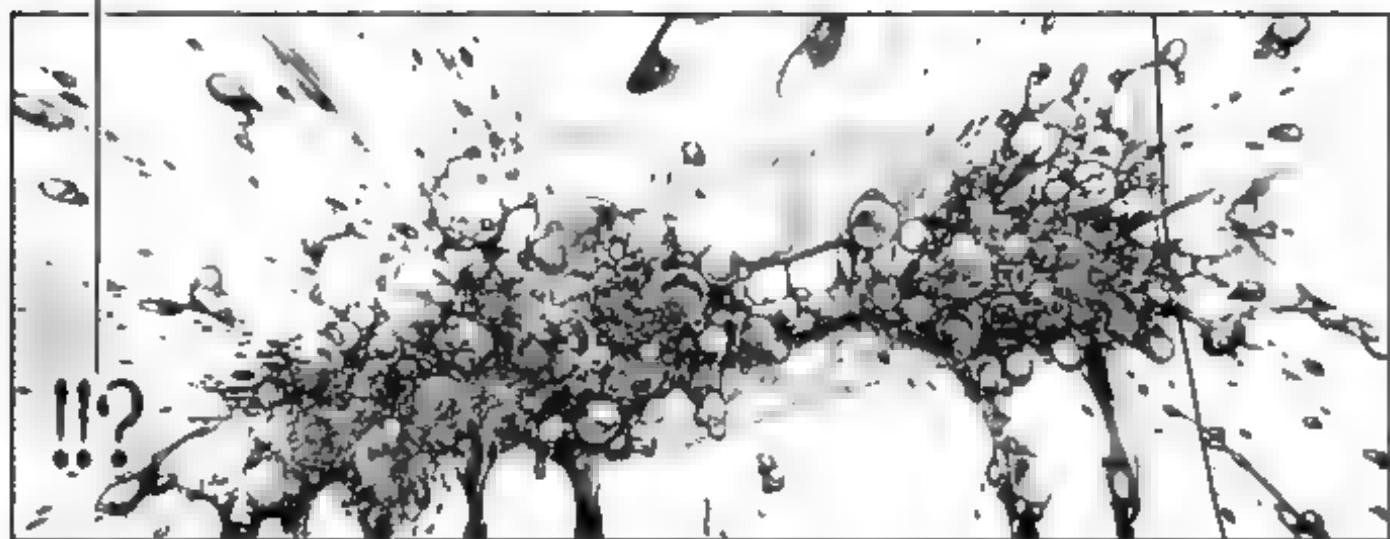






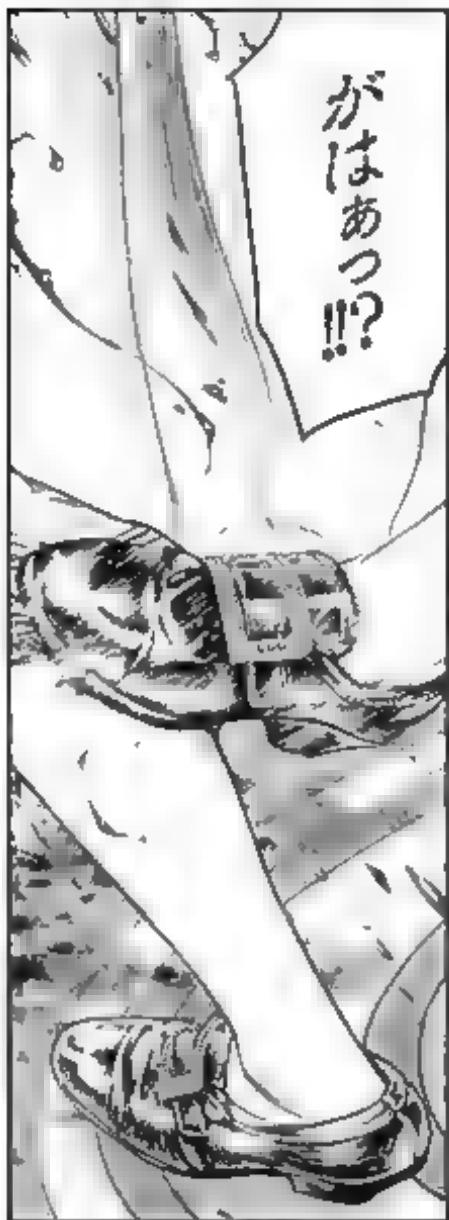




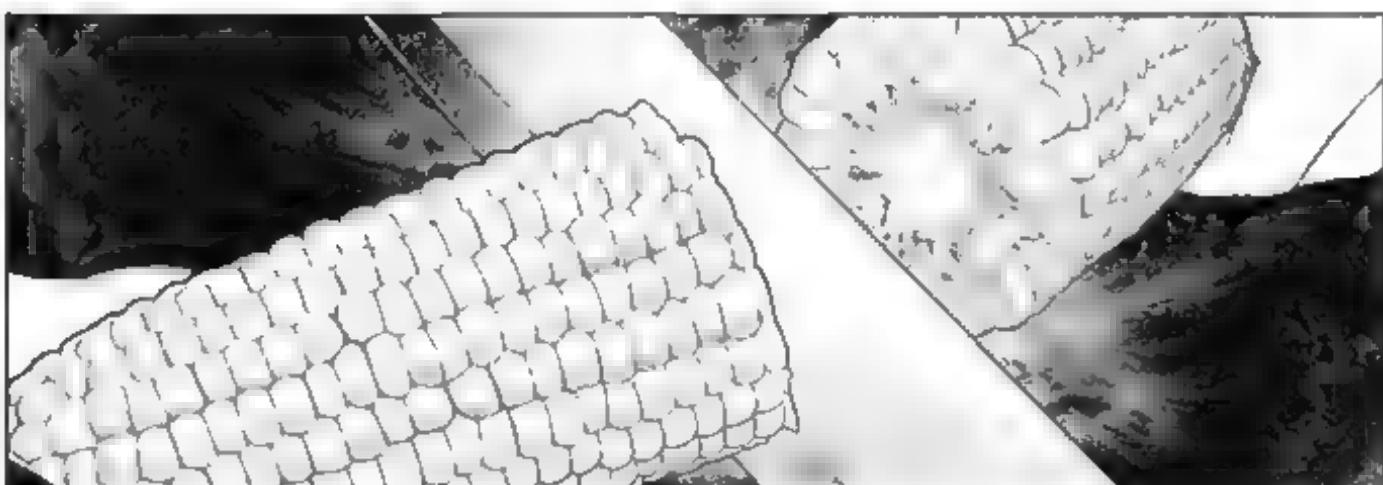
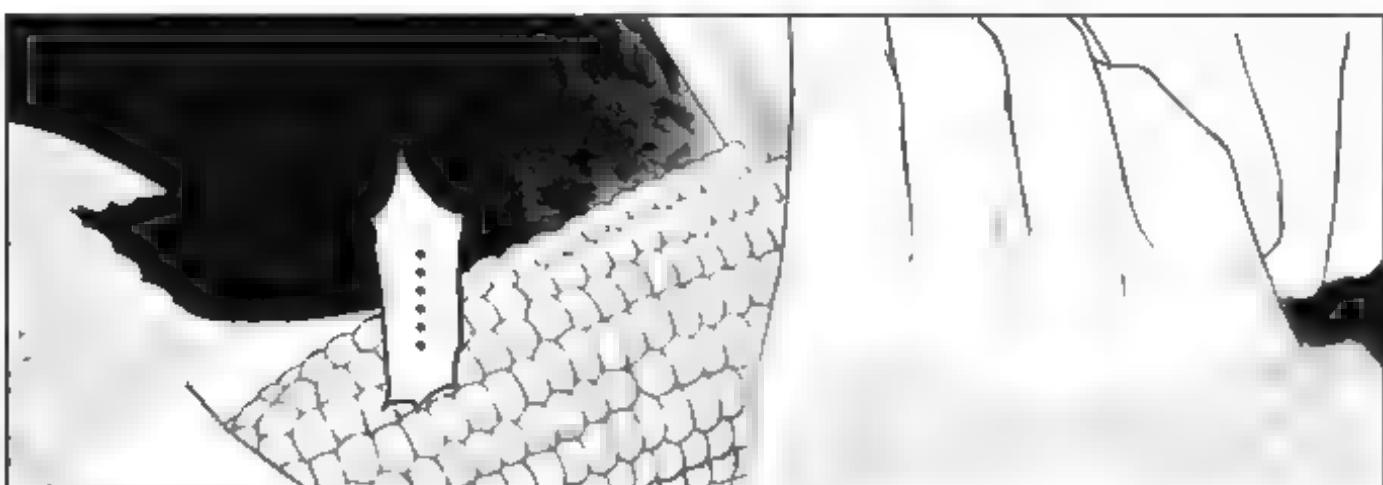
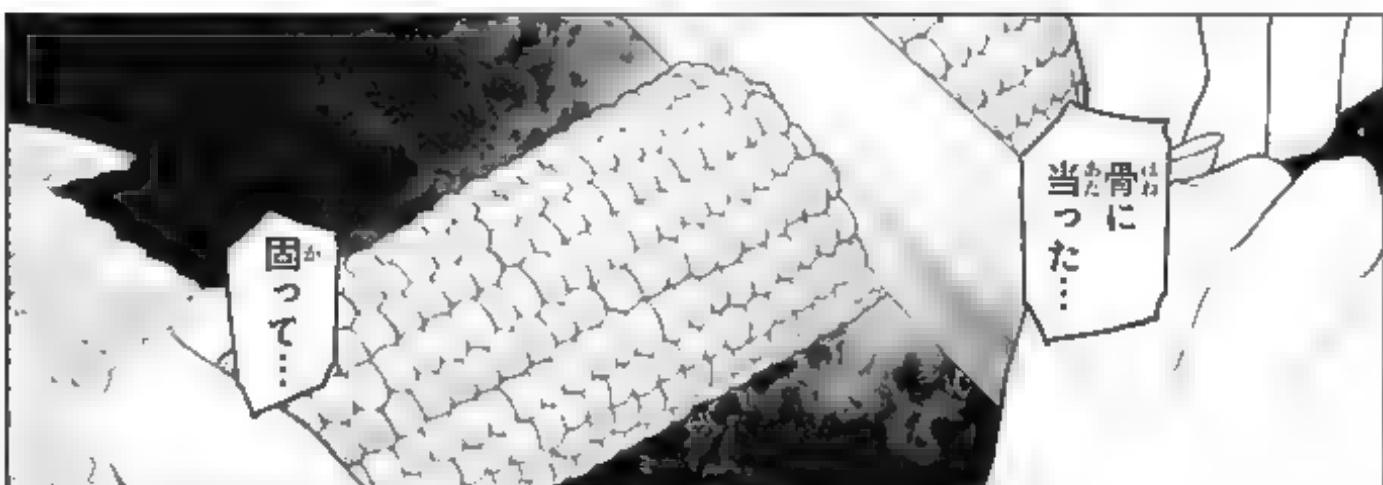
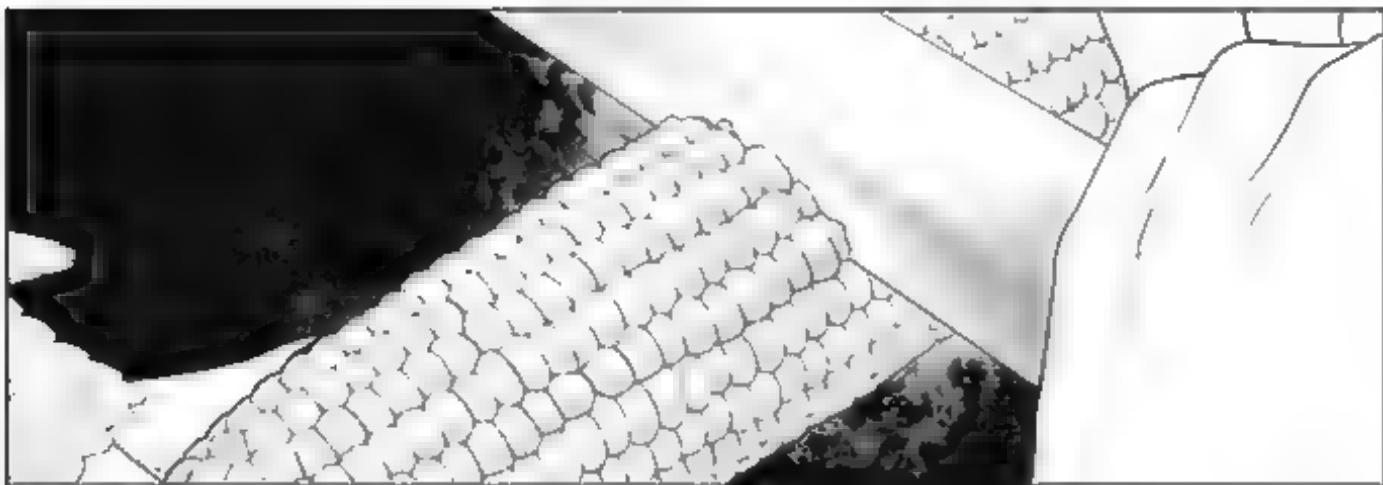




死神サンソンに俺は一票を投じる









in.71 白い嵐の予感

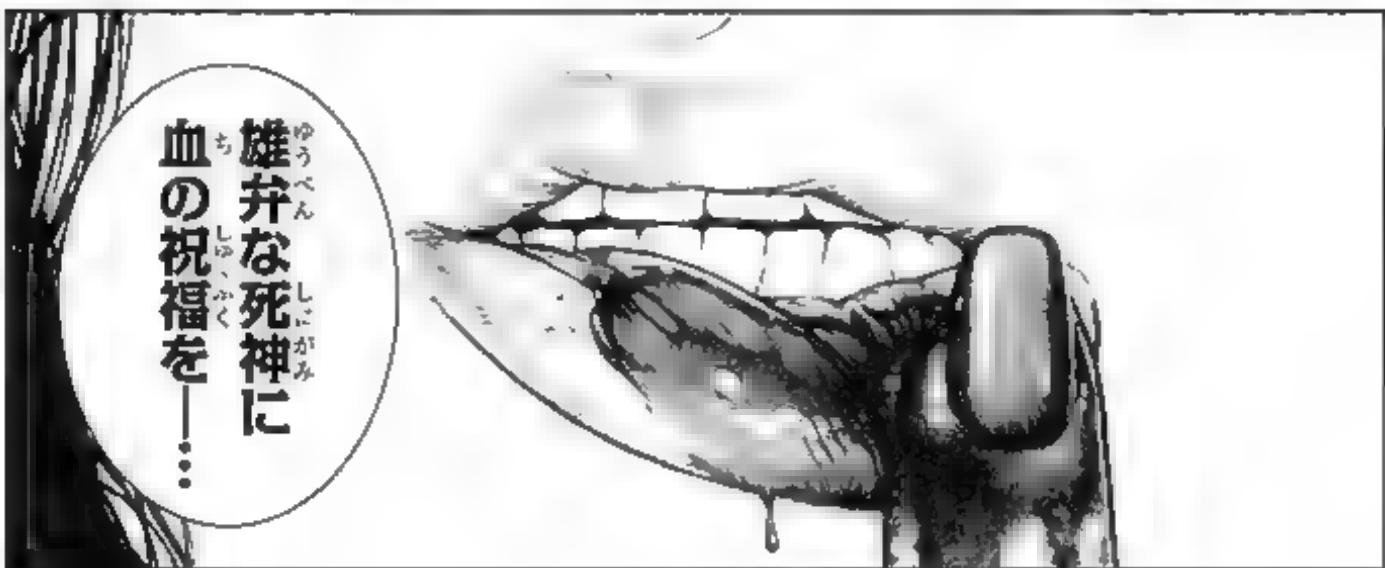




皆の者
よく
聞けい!!!



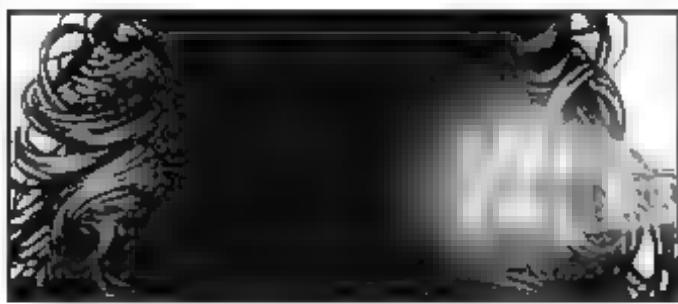


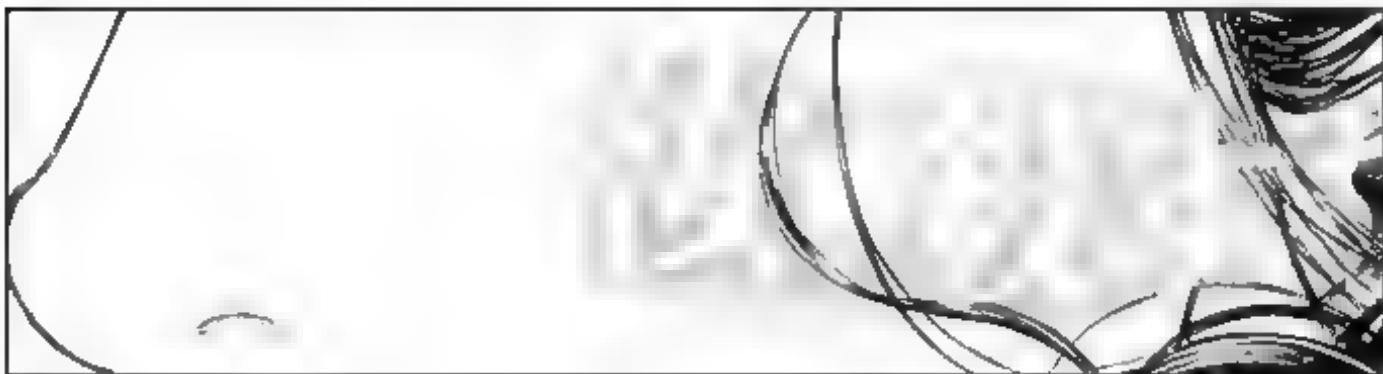




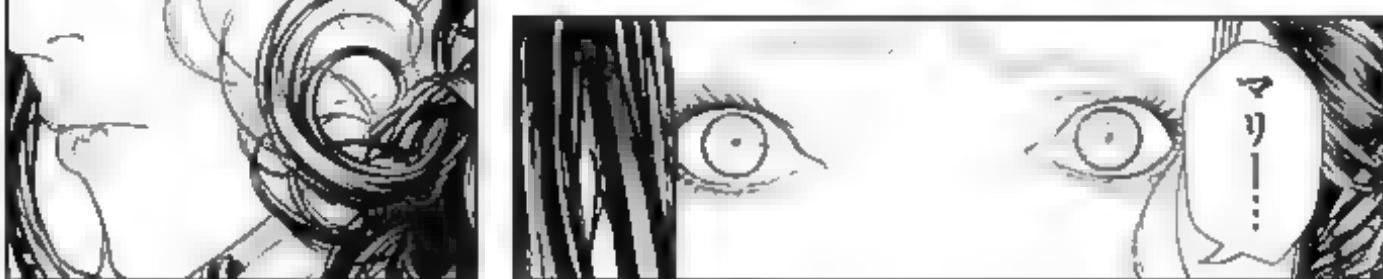
私も
死神の仲間と
いう訳だ

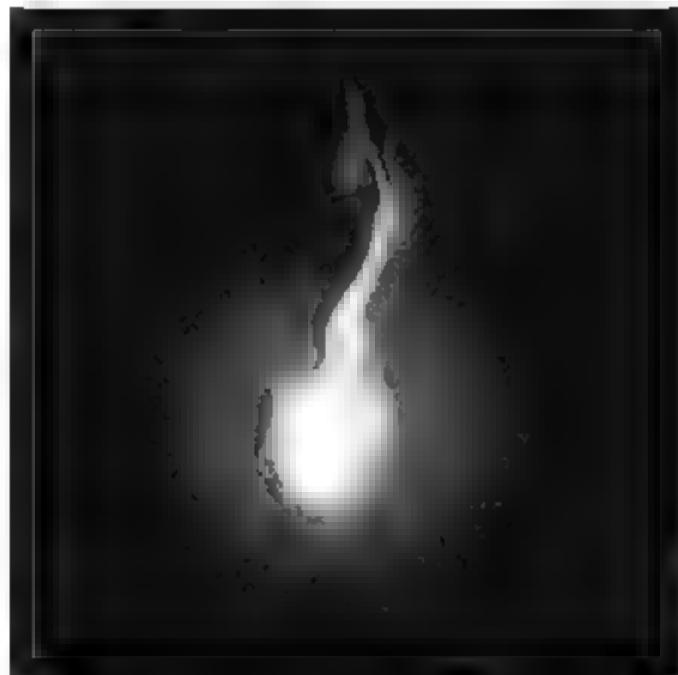
これで
お前まえと同じおな











たつた一つ

ウイ
喜んで…!!!
アベック・アヒル

希望の灯が繋がつた





大銀
洪らの
水
後は

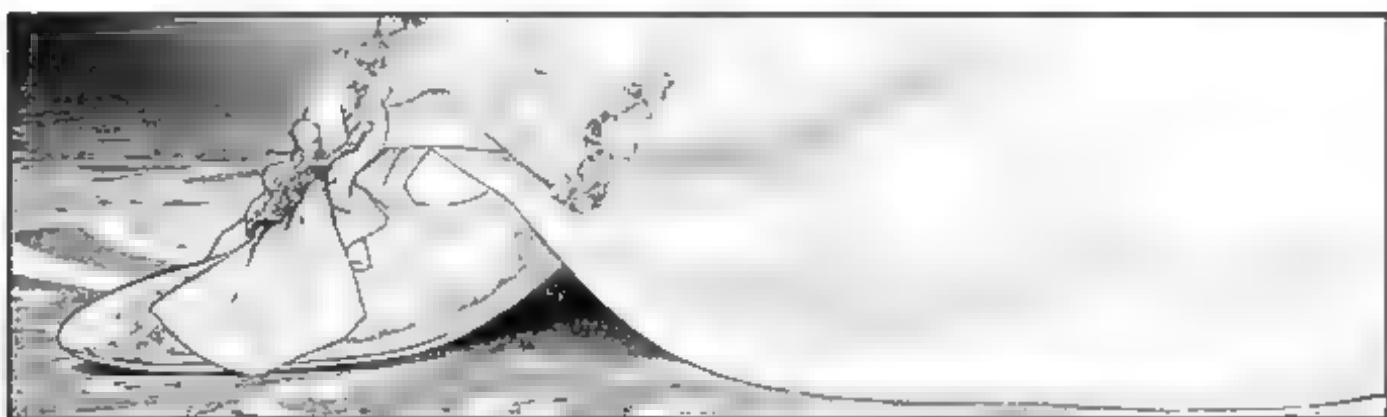
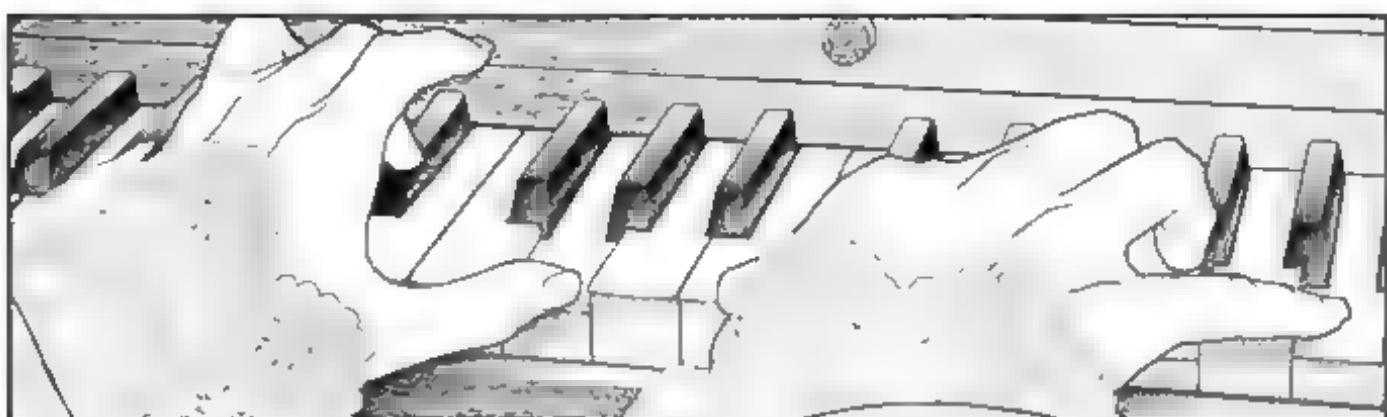


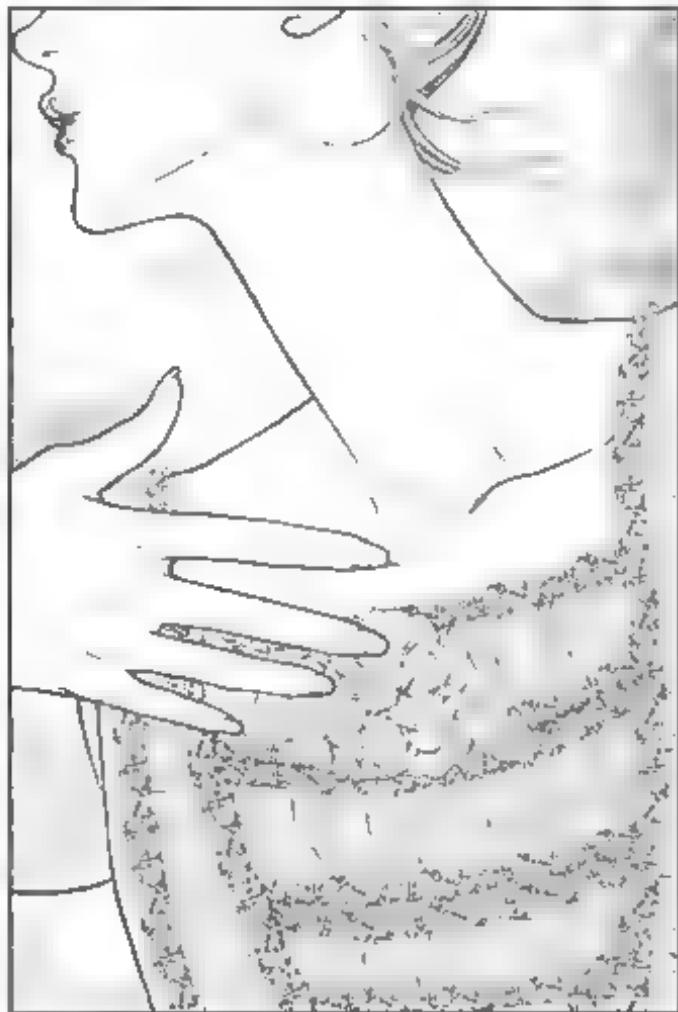
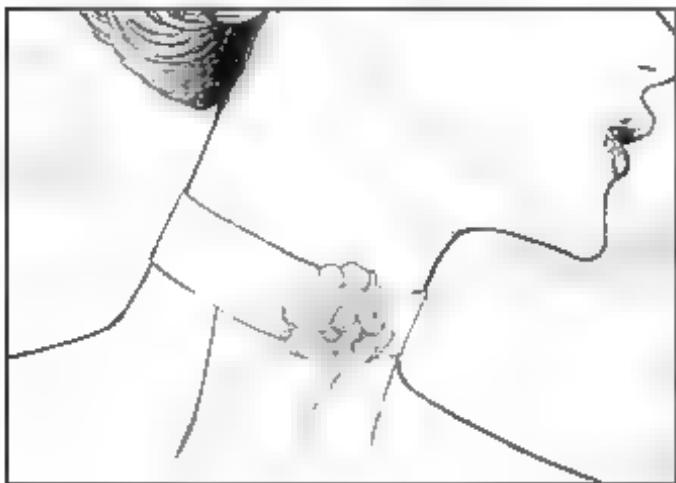


1763年
10月



オーストリア
ウィーン
シェーンブルン宮殿





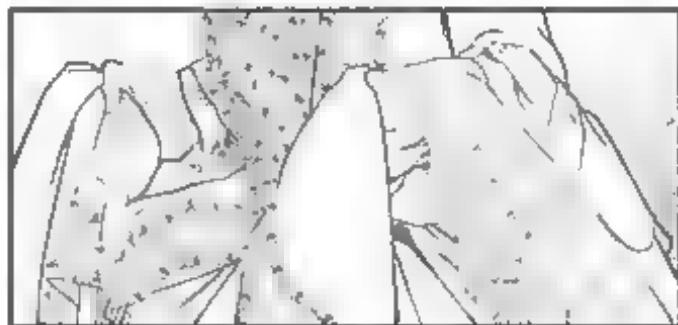
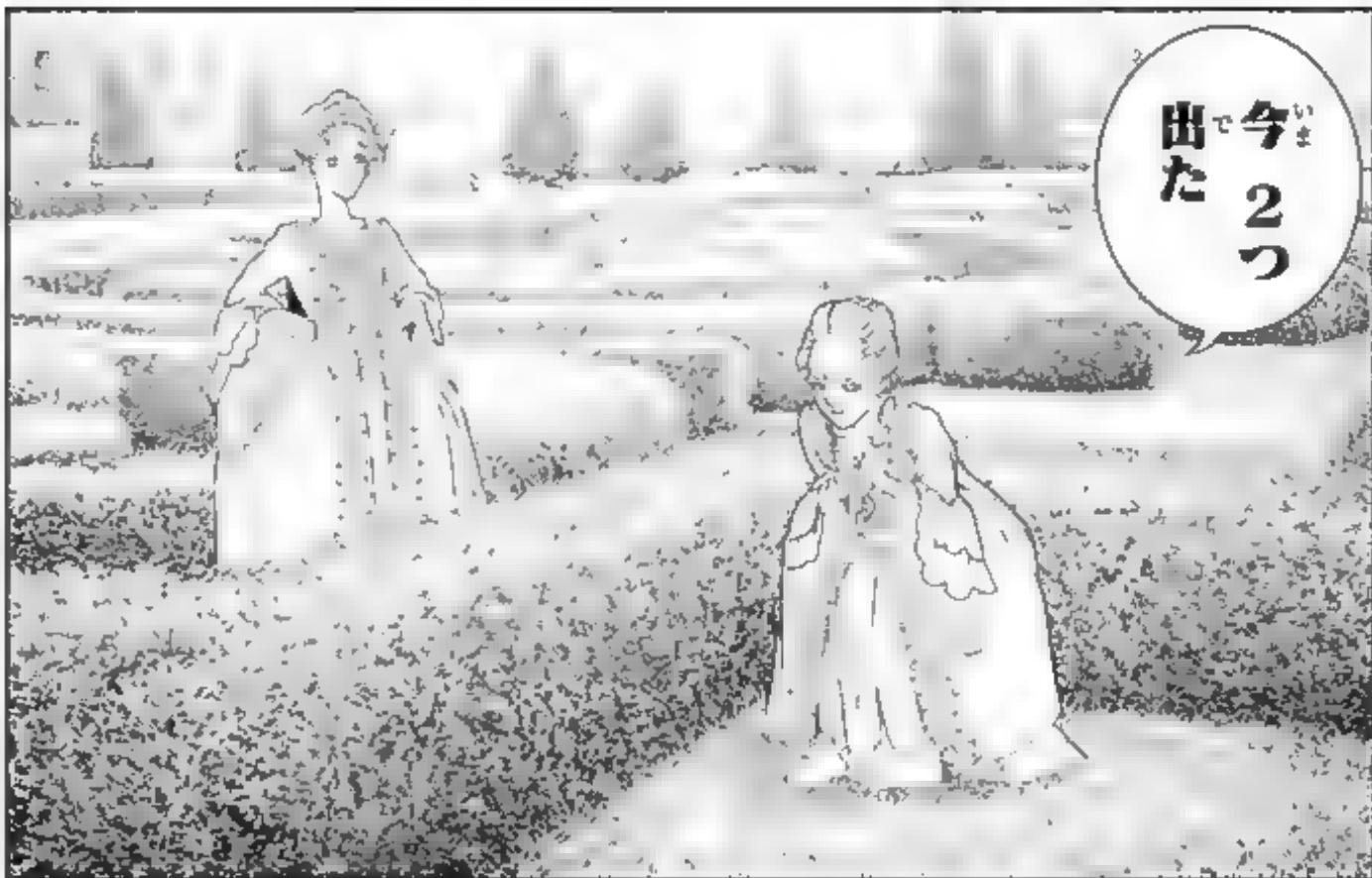


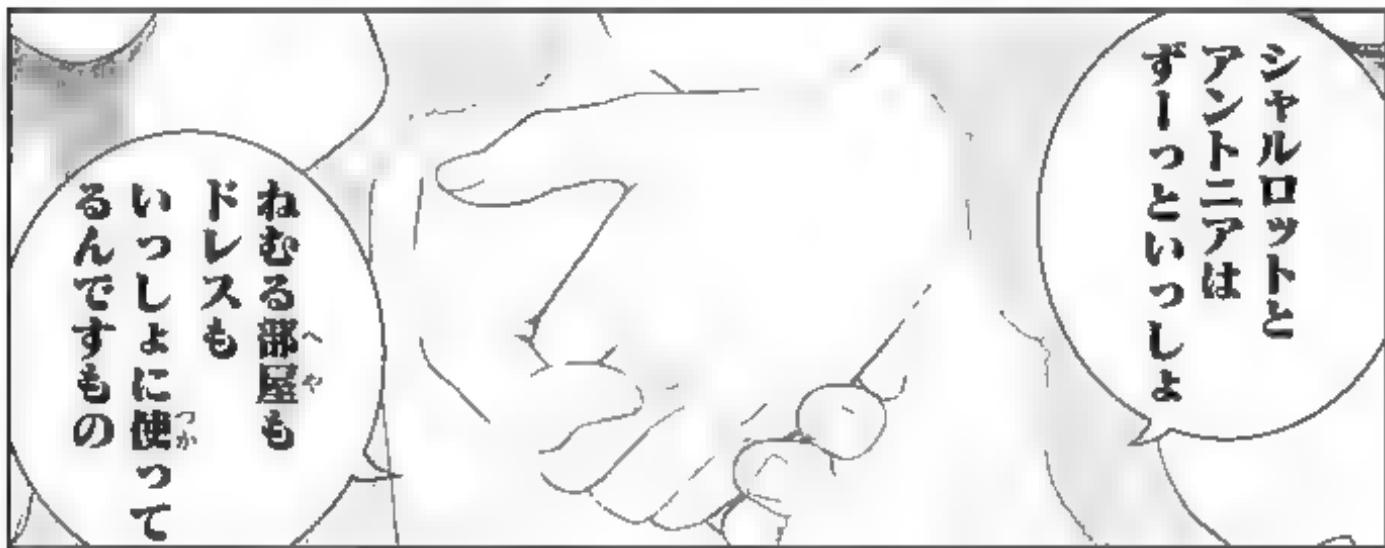
n°72 奇跡の花嫁











春は
はなかんむりで
バレエ



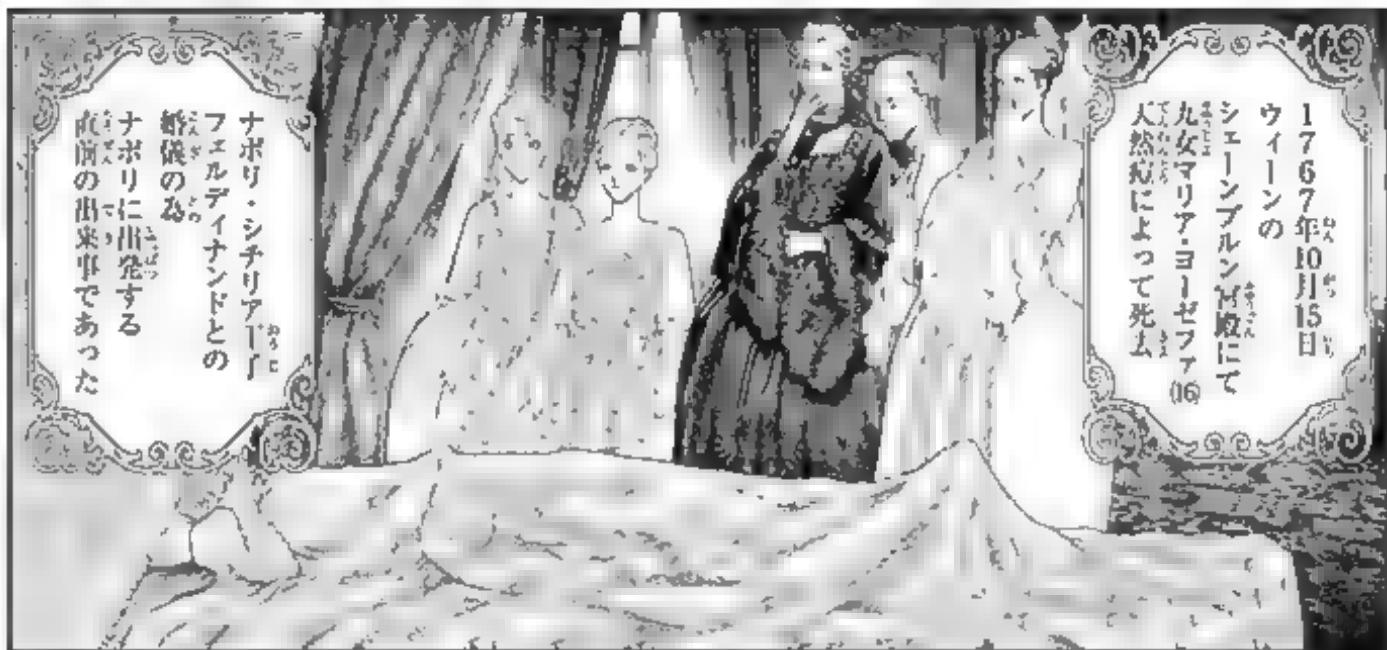
夏は
ボートで
水遊び

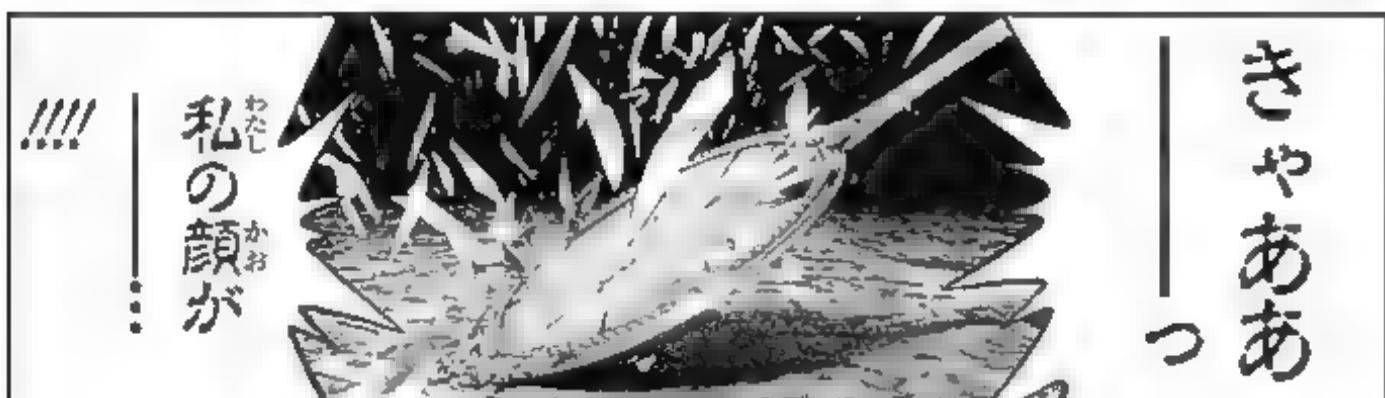
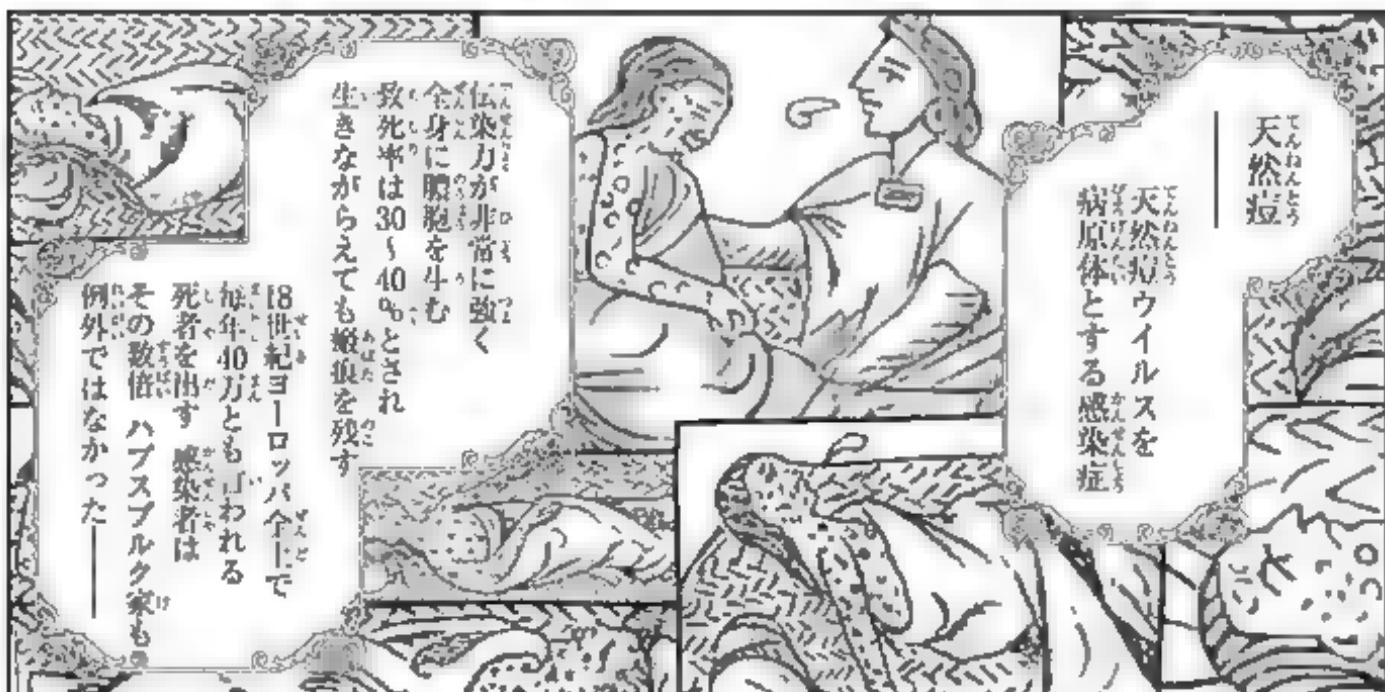
秋はリンゴや
プラムを狩つて
おなかいっぱい

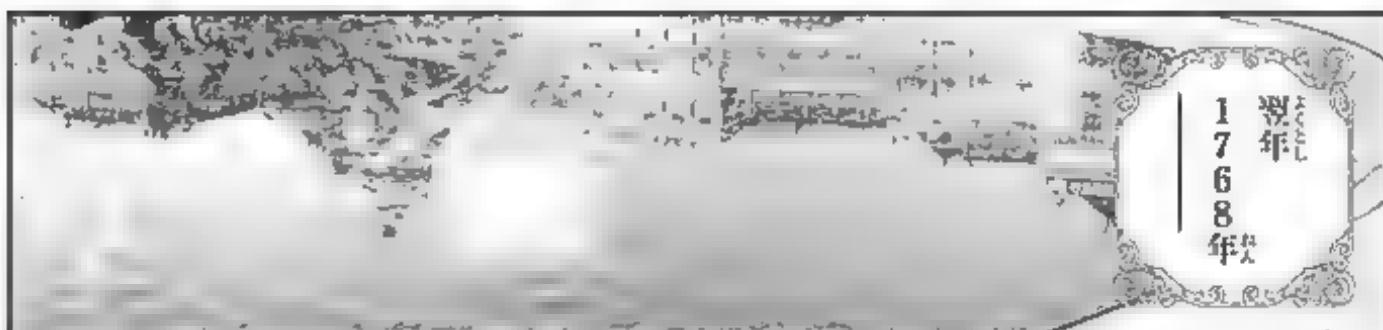
冬はソリ遊びを
しまじょう!!

そして

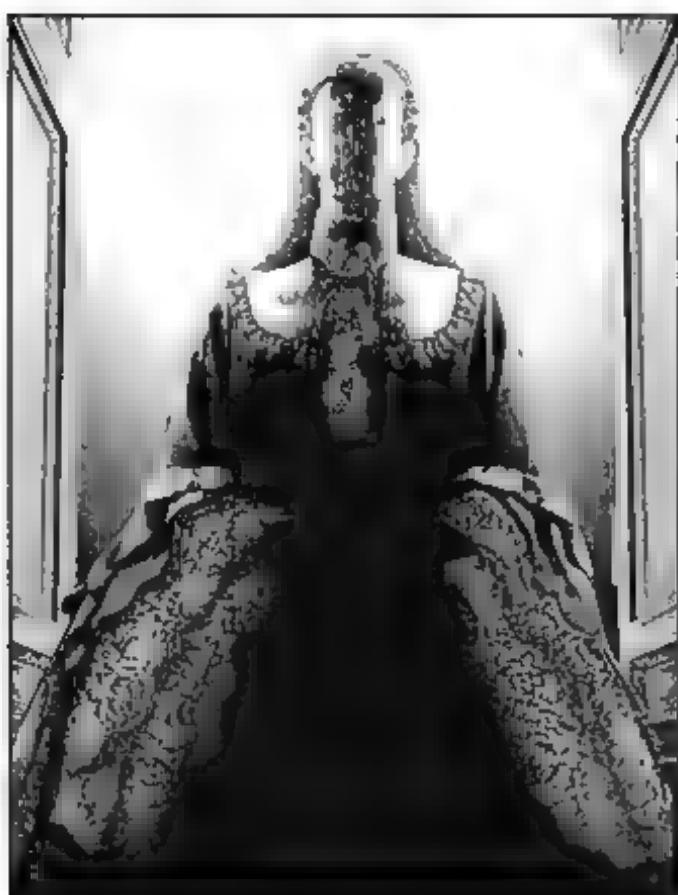
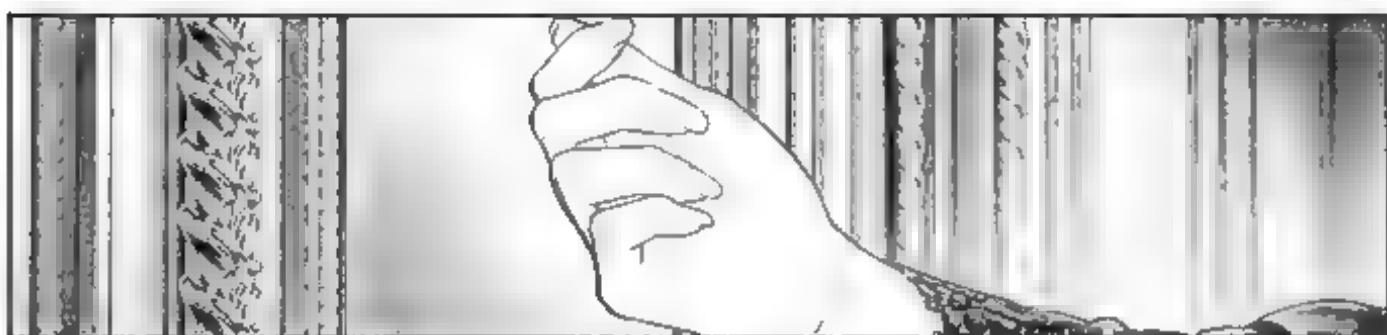
















あなたの
瞳に迎え入れる
のです

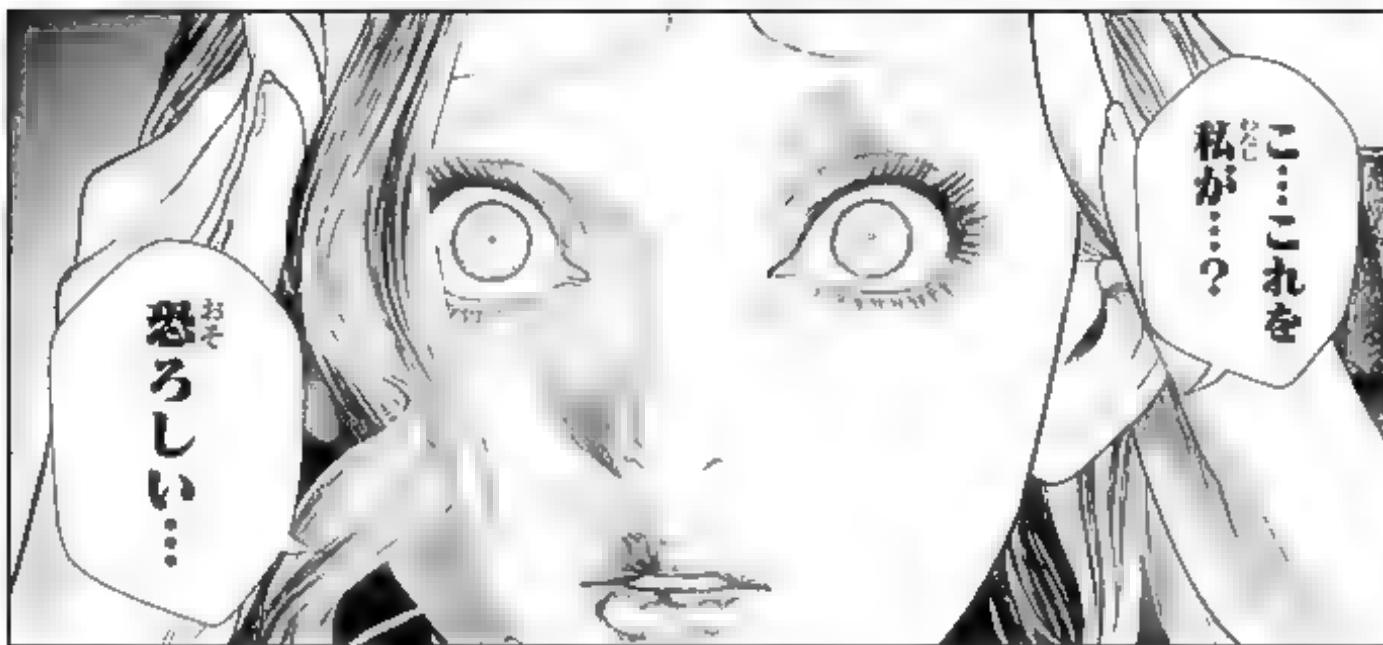
このように
殿方のベニスが
膨らんでから

この
キリシヤ^{レルハ}神話の
コピテルとシユノンを
よくご覧なさい

アントニア

ANTONIA





め
そ
目を反らしては
なりません
アンドニア

あなたが
フランス王との
子を成す事が 我が
オーストリア全土の
幸せなのです

n°73

供犠の薔薇

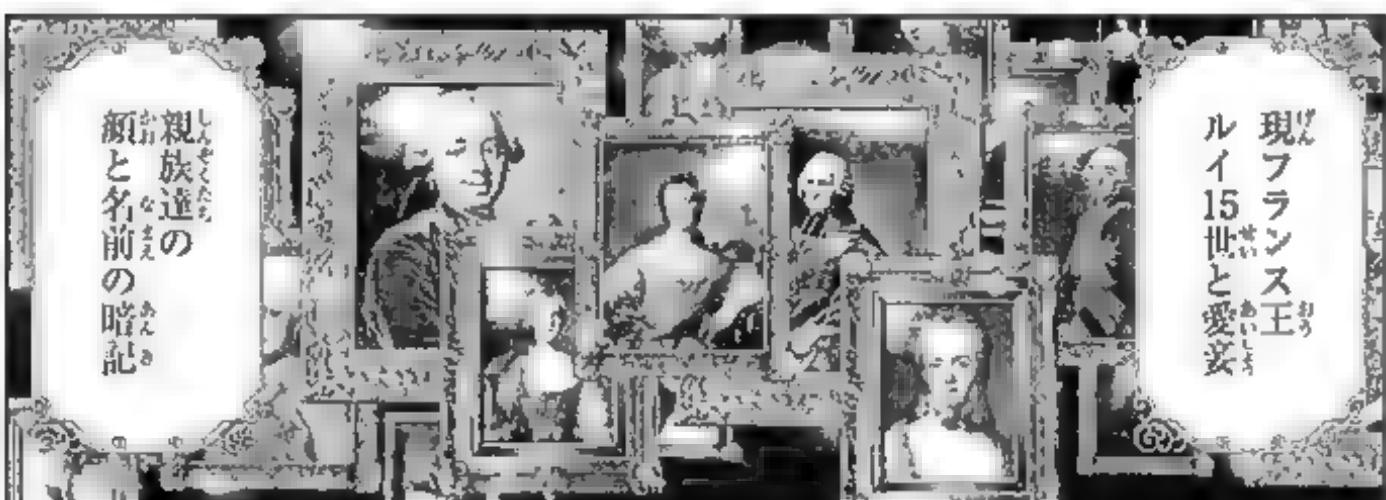
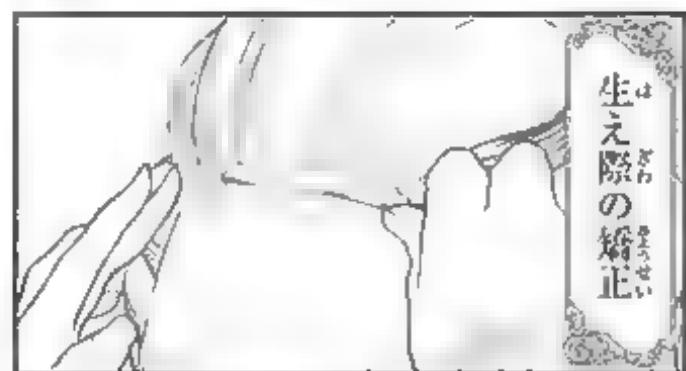
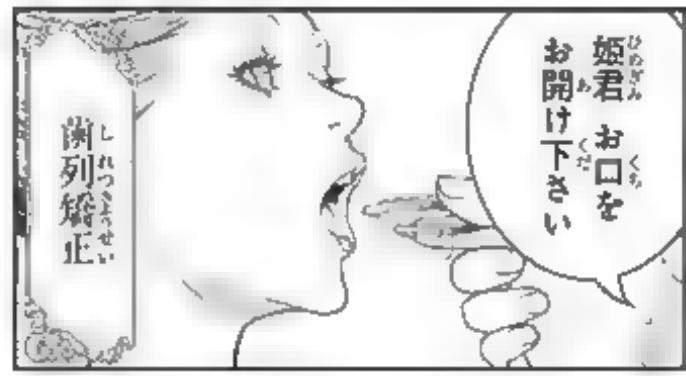
神が
あなただけに課された
特別な運命なのです!!



気が遠くなる程の
書簡が両国を行き來した後

オーストリア皇女
マリア・アントニアと
フランス王太子
ルイ・オーギュストとの婚儀は
1790年5月16日と決まった

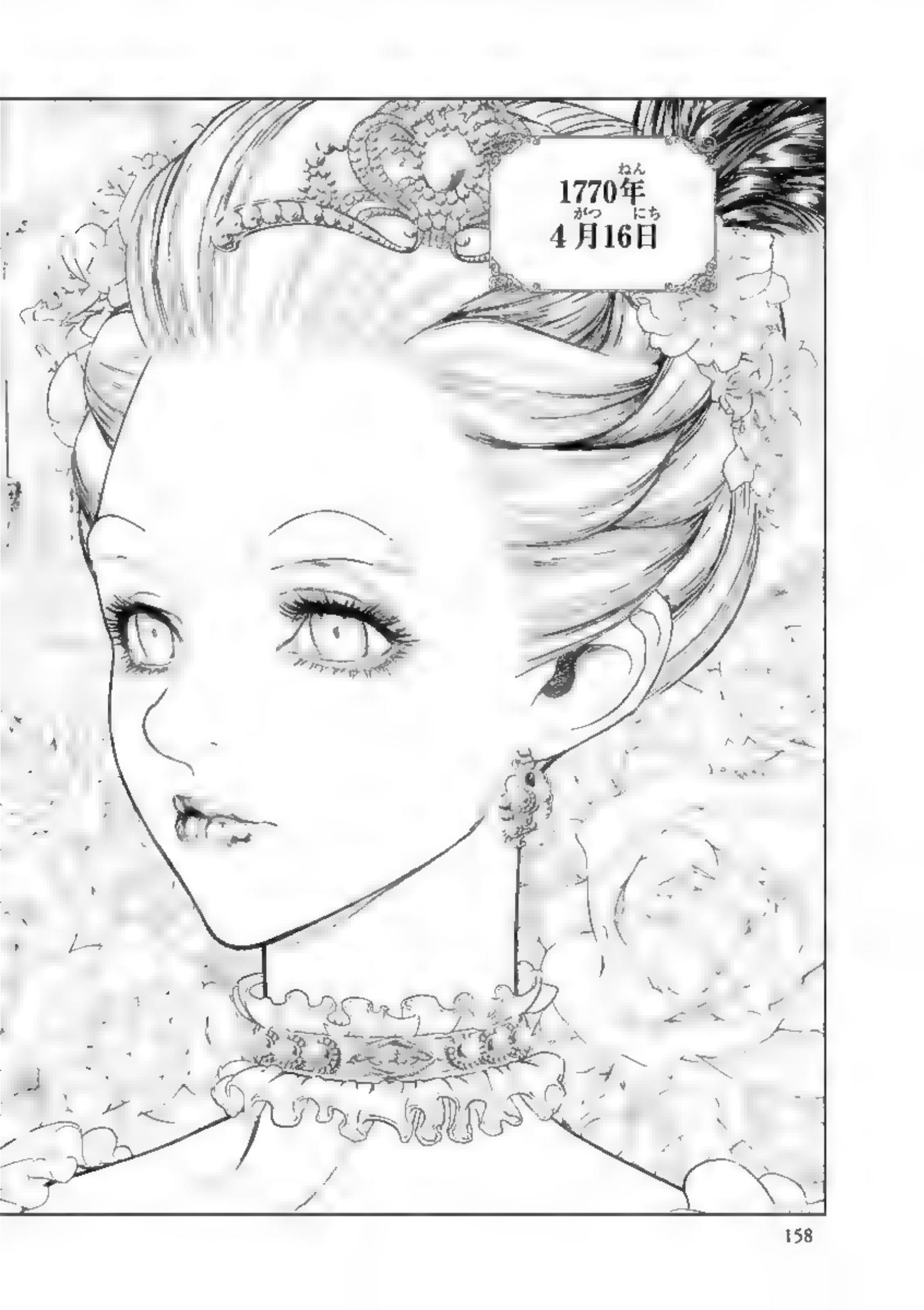




現フランス王
ルイ15世と愛妾



フランス宮廷での
立居振舞い



1770年
4月16日



マリア・アントニア
・ヨーゼファ・ヨハーナ
14歳さい



なんて美しいの
愛しい我が娘
アントニア…

いえ
1ヶ月後には

王太子妃

マリー・アントワネットと
呼ばれているのですね



同じ…

お姉様たちと

今まで嫁いでいた
お姉様方にそつくりで
ござります…

このような
お綺麗な姫君に
成長あそばすとは…

このシェーンブルンの
庭の木によじ登つたり
泥だらけになつて
遊びまわつていた
アントニア様が



代わり
シャルロットの

フランスに嫁ぐ
はずだつた

あの恐ろしい天然痘で亡くなつた
可哀想なヨーゼファの代わりに
ナボリ王国妃となつて
嫁いでいつたシャルロットも
同じ気持ちだつたのかしら…

これは私だけの運命なんかじゃないよ
誰でもよかつたのよ

お母様にとつて私達姉妹は
すぐに顔をはめ変えられる
パズルのピースのようなものかもしないよ





まつ
いつか

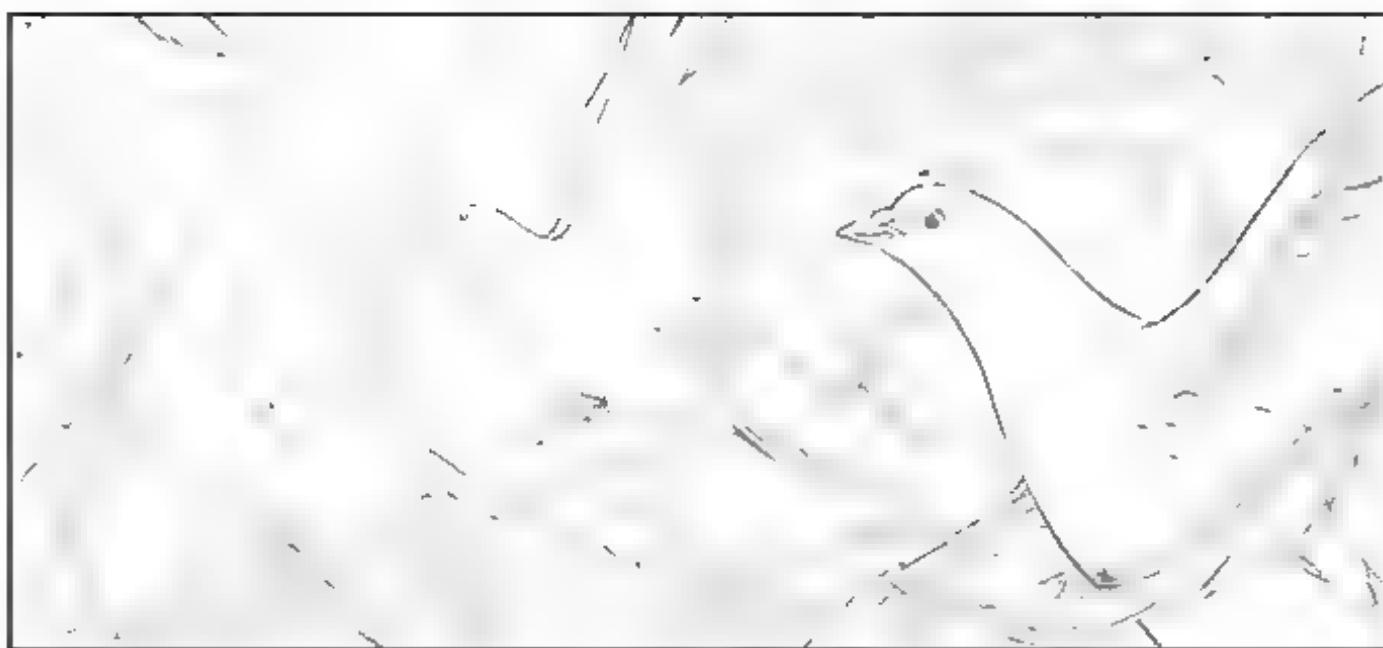
辛いお勉強も
あと一週間で終り

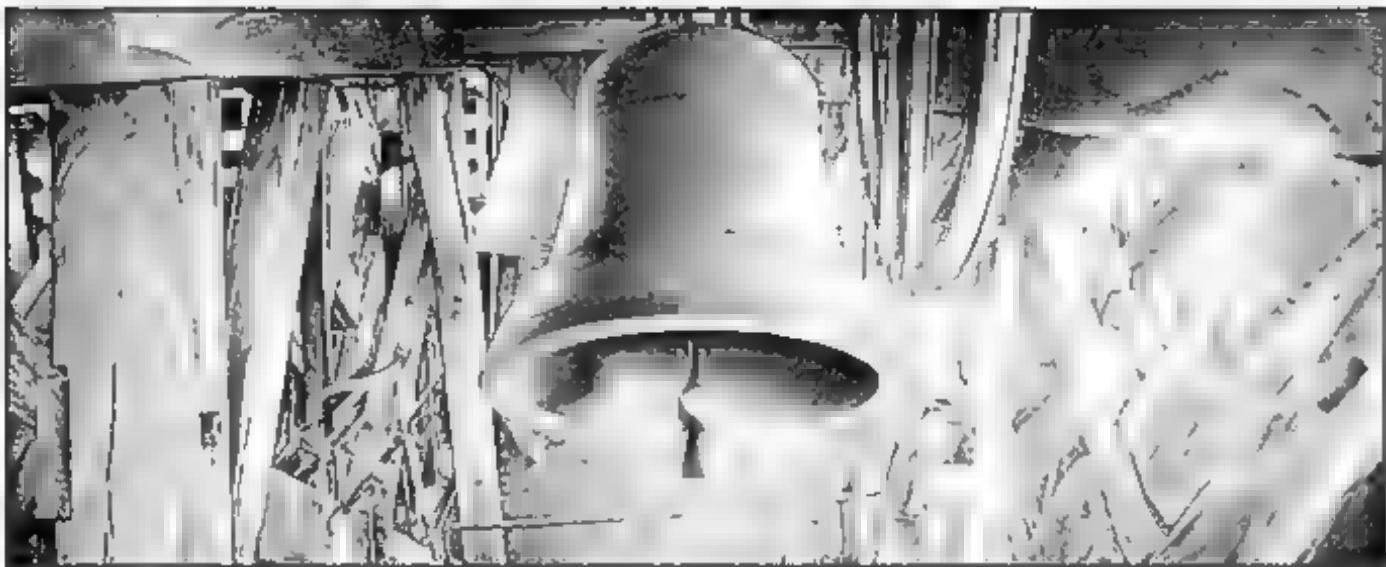
あとはうるさい

お母様もいなし
楽しき暮らせばいいわ

フランスは
お洒落で
素敵な所だつて

みんなは言つし
たの
楽しみだわ





1770年
4月16日





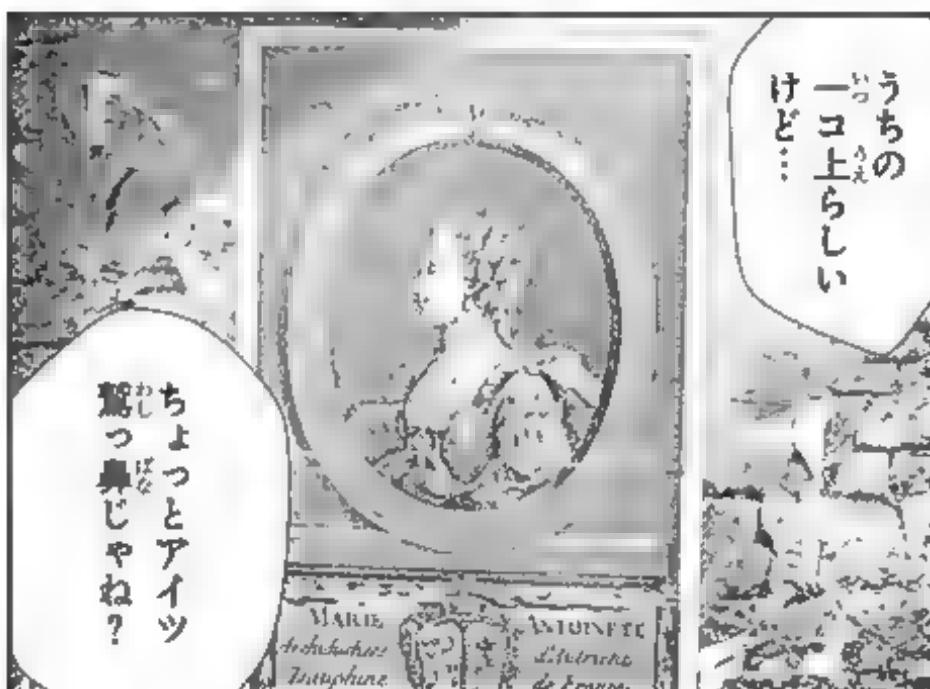
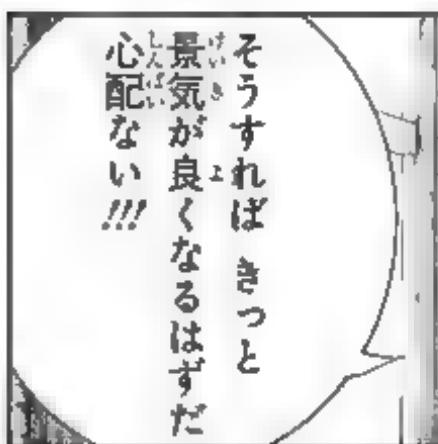


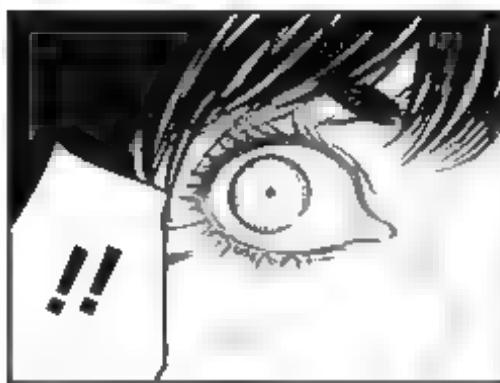


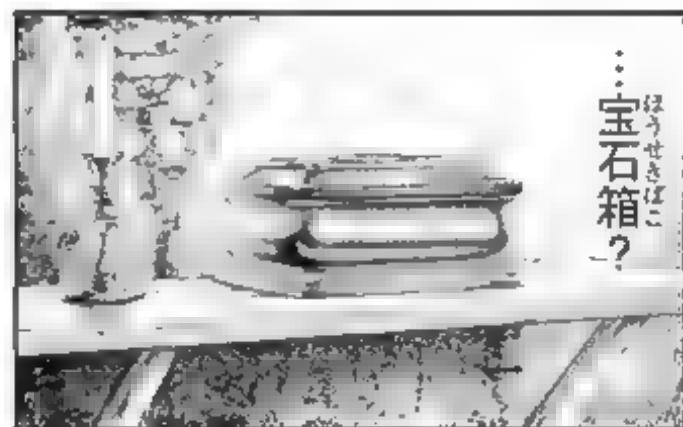








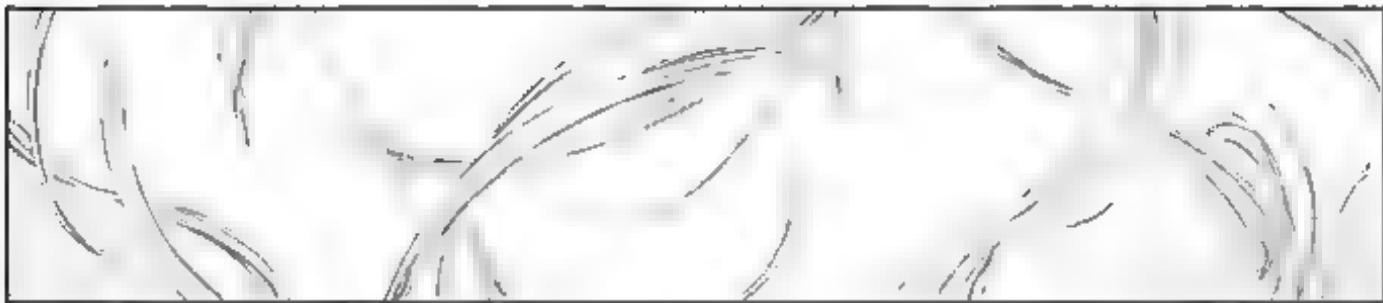






構^{かま}わねえ
バツサリ
いつてくれ

剣^{けん}を握^{はむ}つたら
髪^{かみ}をかきあげるのが
面倒^{めんどう}だ

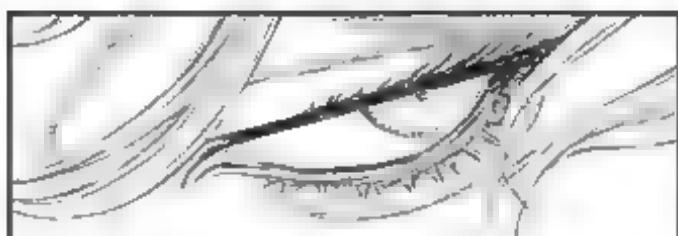








こんな貧民窟に
お供もつけねえで
単身乗り込んでもくるとは

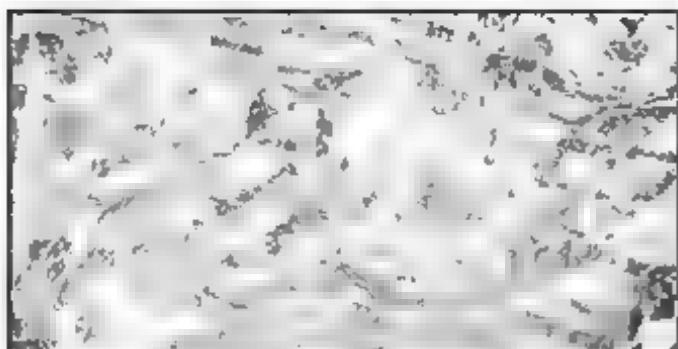
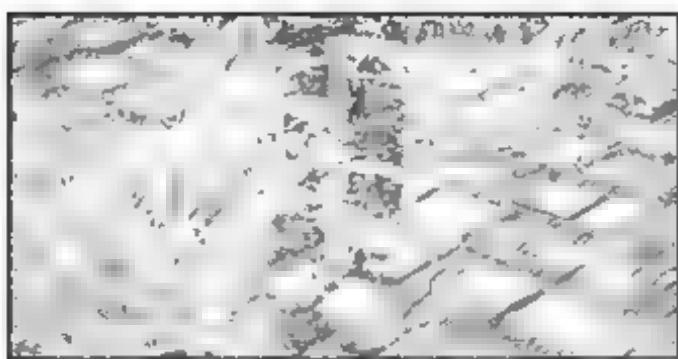


お貴族様か



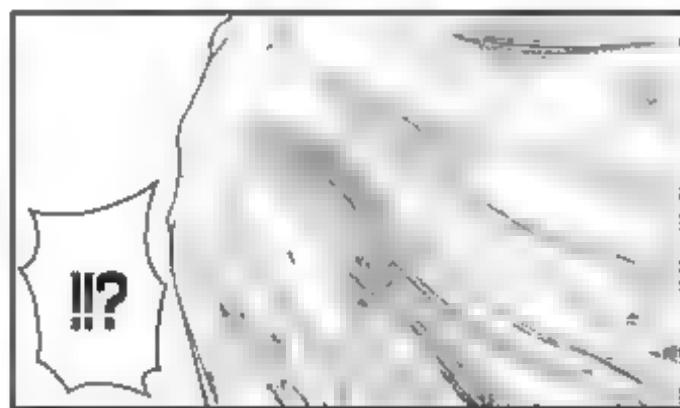
男か男つけいや
この香水の奥から
かすかに臭う
この臭いは女に
違ひねえ

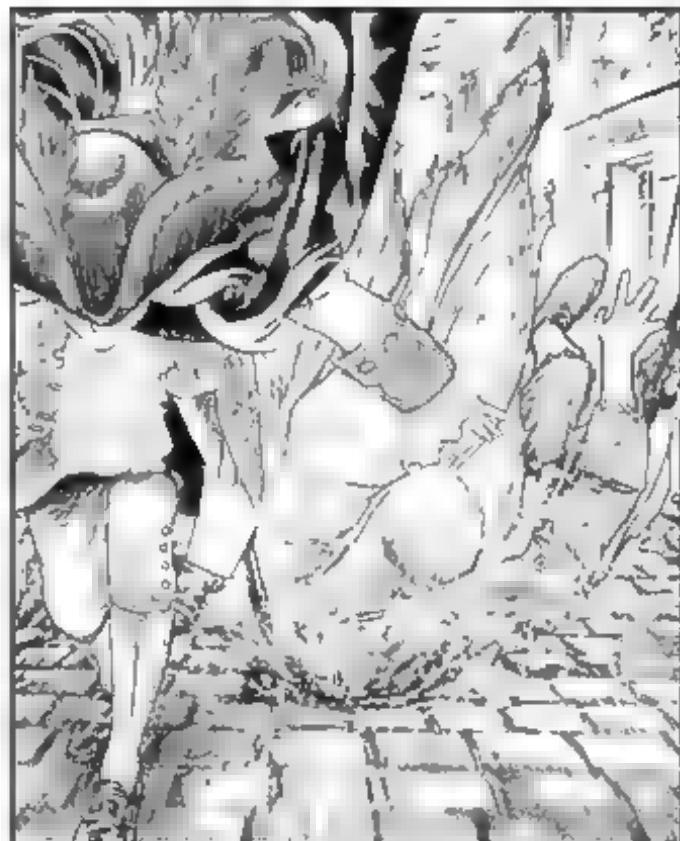
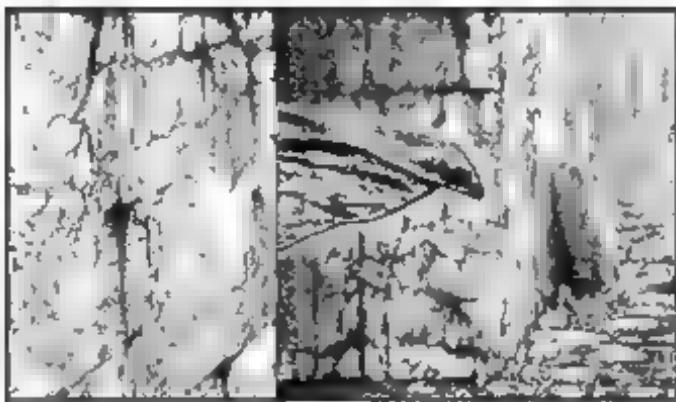
いやこの際
どつちでも
構わねえ





馬鹿野郎
ただの洗濯物
じゃねえーか

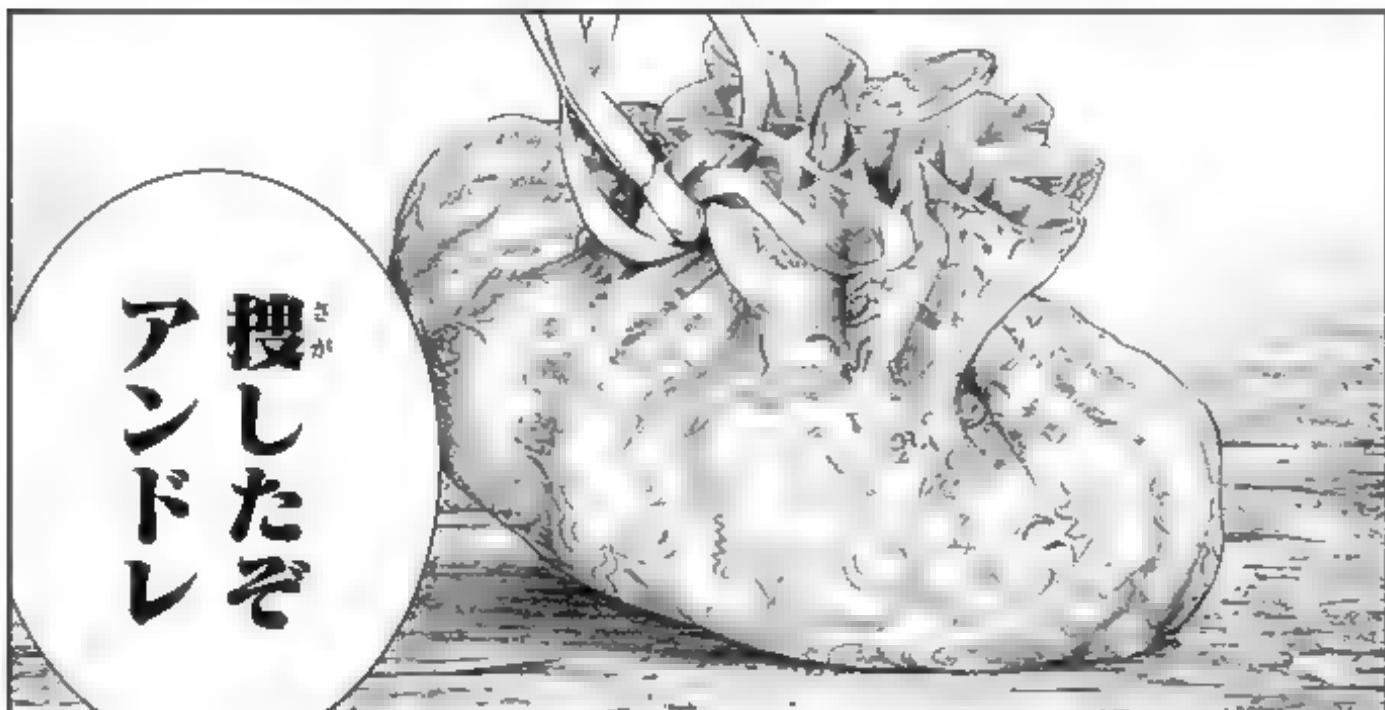










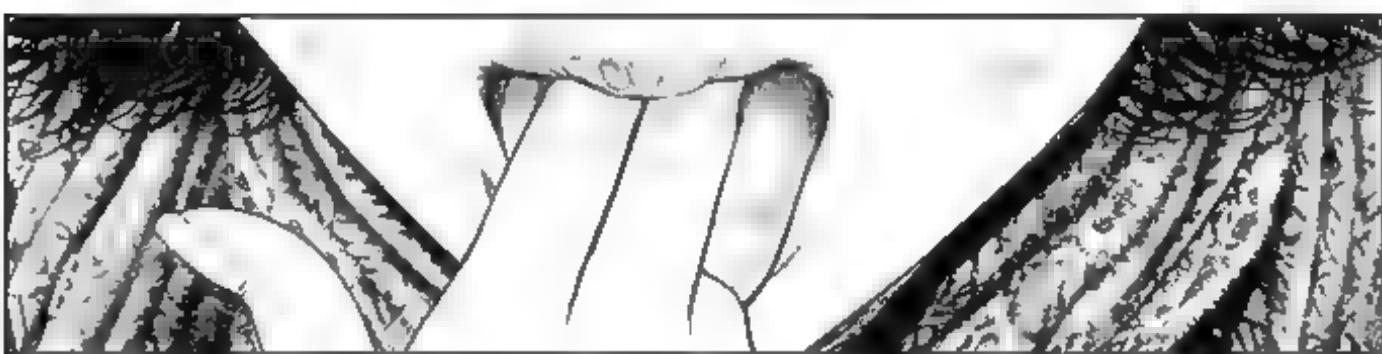




n°75 “血”の闘争

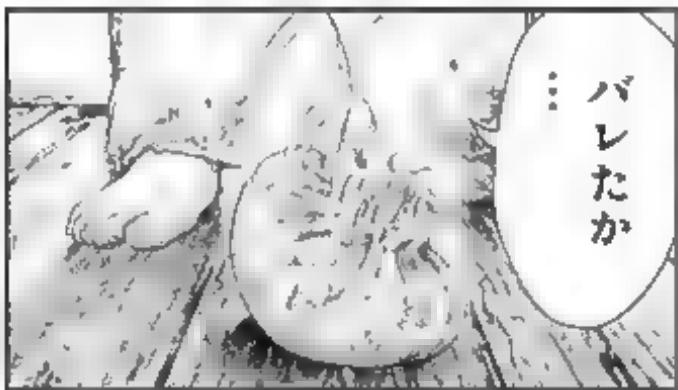
マ
…

マリー様
さま
!!!

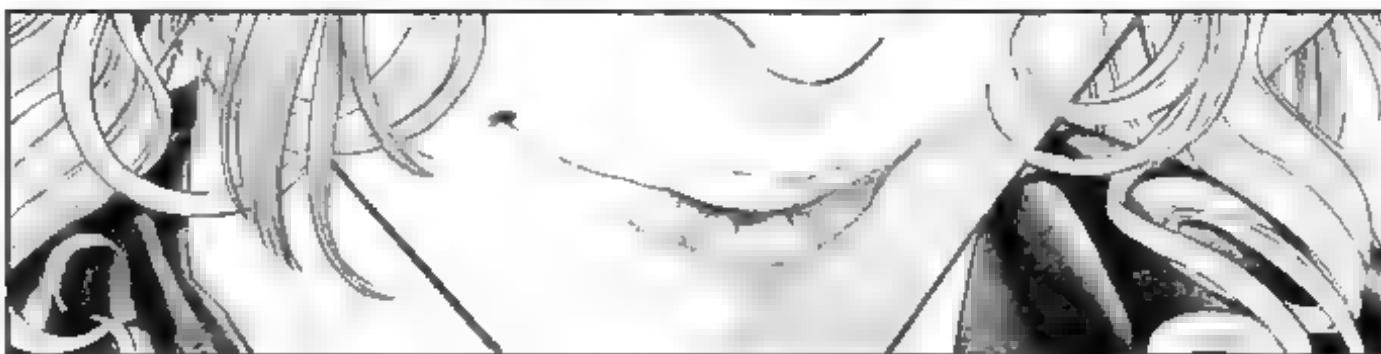














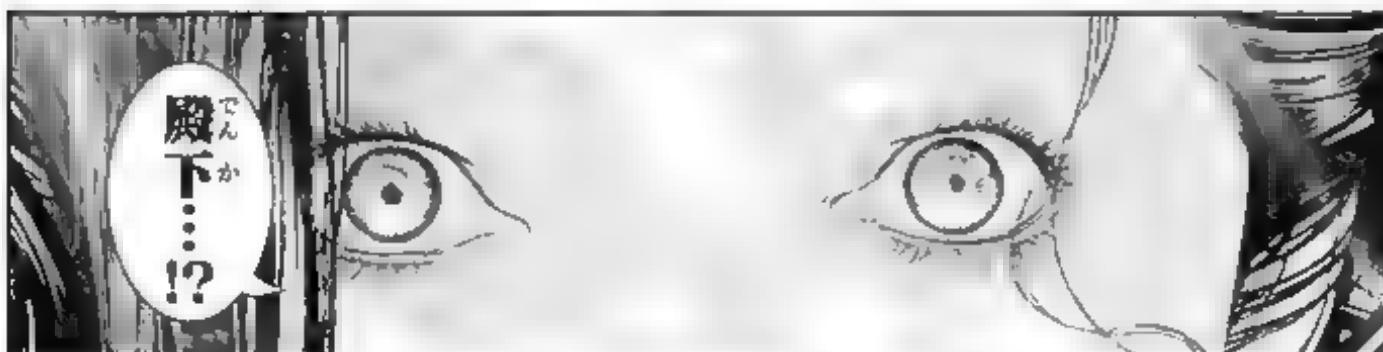


人間が
己の肉体の欲望を
抑える事は



神への
冒瀆なのだろう
か…?











身分に
捉われるなど
と
いたお前が

私を
怖れるのか

お前は
一度たりとも
自分から
私に触れようと
しなかつた

私は今
全ての既成概念を
否定してみせる!!!

私は
神などでは
ない

禁忌をも犯す
愚かな人間
なのだ

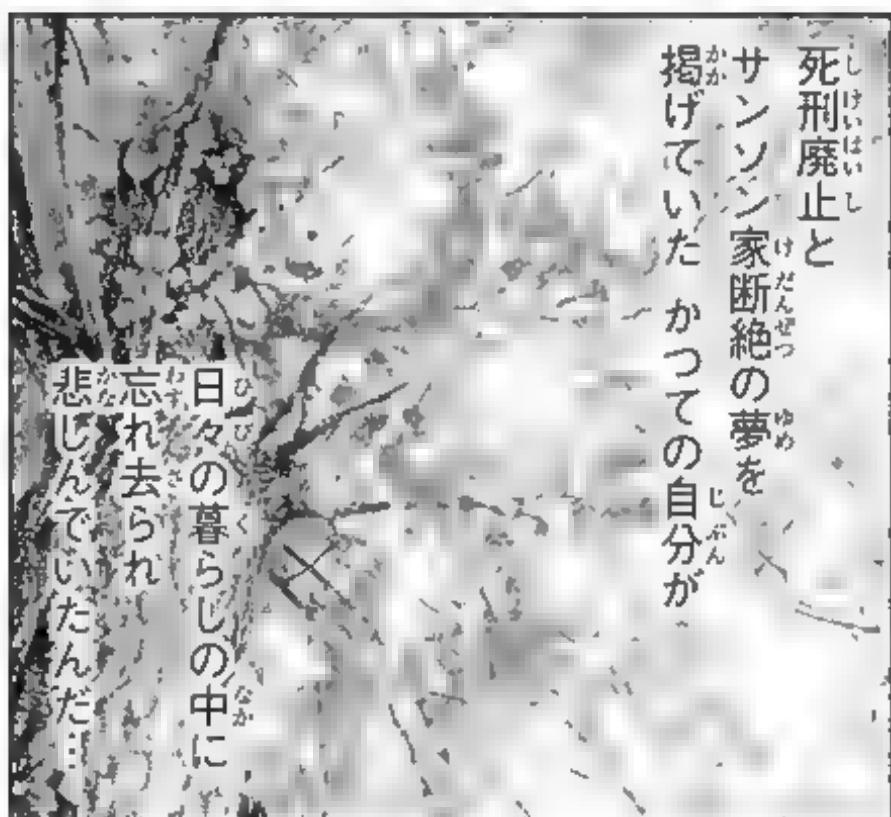


私はこの度

オーストリアから来る花嫁と
一切の性交渉を持たぬ事を誓い

宣言する
!!!!
私の代で王政を破壊する事を







寝室があなたの戦場ですよ
アントニル

初潮を迎えたばかりのあなたは
瑞々しく実ったばかりの、まだ
誰にももぎとられていない果実

あなたに触れてみたぐ
ならない殿方など
この世にいるはずはありませんよ

1770年4月20日
ルイーオーギュストとの
挙式まで
あと26日

A suivre dans le volume 8.

イノサン

坂本眞一

〔出典〕

安達正勝

『死刑執行人サンソン』

(集英社新書)

※この作品は安達正勝著「死刑執行人サンソン」内の歴史的事実を
坂本眞一による解釈で漫画化したものです。

〔作画協力〕

石塚サム

中村優児

神上郁真

眞蔵修平

中本美咲

〔構成協力〕

田中里佳

〔時代考証協力〕

長田龍太

小野りか

(SPONGE)

〔デザイン〕

小林満

工藤亜希

(ジェニアロイド)

〔編集〕

網島圭介

三輪宏康



イノサン

7巻

坂本眞一

© 坂本眞一 2014, 2015

初版発行 2014年

デジタル版発行 2015年

発行所 集英社

<http://www.shueisha.co.jp>

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、
無断で複製、改竄、公衆送信(インターネット上への掲載
を含む)することは、法律で禁じられています。また、個人
的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなど
の著作権保護技術を解除して行うことはできません。

eBOOKで
快適読書生活



<http://www.ebookjapan.jp>

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co.,Ltd.
<http://www.ebookjapan.jp>
